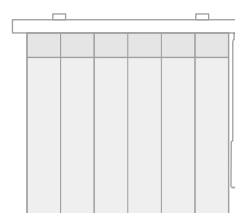


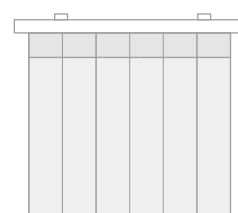


SmartDrape™ Shades

NORMAN® スマートドレープシェード仕様書



ボタンタイプ



電動タイプ

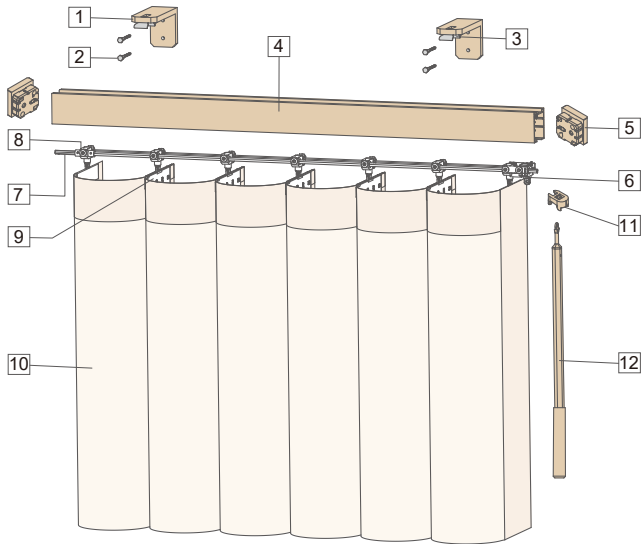
ボタンタイプ	
1. 仕様と構造	03
1-1. バトン位置とシェードの寄せ位置	05
1-2. 製品幅の定義とシェードの枚数	06
・単窓仕様	06
・連窓仕様	08
1-3. 製品高さ	10
1-4. バトンの長さ	11
1-5. 付属部品の数量	12
1-6. 製品重量と生地重量の目安	13
1-7. シェード芯地の高さの目安	13
2. 取り付けタイプ	14
3. 取り付け条件	14
3-1. 窓枠天井付け・浅天付け	14
3-2. 壁面付け	15
3-3. カーテンボックス付け	16
3-4. カーテンレール付け	16
4. 必要寸法一覧	17
5. 採寸方法	18
5-1. 製品構造に伴う推奨寸法と諸注意	18
5-2. 窓枠天井付け・浅天付け	19
5-3. 壁面付け	19
5-4. カーテンボックス付け	20
5-5. カーテンレール付け	20
6. 取り付け方法	21
6-1. 取り付けの手順	21
6-2. ヘッドレール（製品本体）の取り付け	21
・窓枠天井付け	21
・浅天付け	22
・壁面付け	23
・カーテンボックス付け	24
・カーテンレール付け	25
6-3. ヘッドレール ジョイント仕様	26
6-4. 連窓仕様のレールコネク	26
6-5. 生地の着脱手順	27
6-6. バトンの取り付け ＊両バトンの場合	27
7. 操作方法	28

電動タイプ	
1. 仕様と構造	30
1-1. 製作可能寸法	30
1-2. 寄せ位置	33
1-3. 製品幅の定義とシェードの枚数	34
1-4. 製品高さ(ご発注高さ)	38
1-5. 付属部品の数量	39
1-6. 給電関連部品	40
1-7. 製品重量と生地重量の目安	41
1-8. シェード芯地の高さの目安	41
2. 取り付けタイプ	41
3. 取り付け条件	41
3-1. 窓枠天井付け・浅天付け	14
3-2. 壁面付け	15
3-3. カーテンボックス付け	16
3-4. カーテンレール付け	16
4. 必要寸法一覧	42
5. 採寸方法	18
5-1. 製品構造に伴う推奨寸法と諸注意	18
5-2. 窓枠天井付け・浅天付け	19
5-3. 壁面付け	19
5-4. カーテンボックス付け	20
5-5. カーテンレール付け	20
6. 取り付け方法	43
6-1. 取り付けの手順	43
6-2. ヘッドレール（製品本体）の取り付け	43
・窓枠天井付け	43
・浅天付け	44
・壁面付け	45
・カーテンボックス付け	46
6-3. ヘッドレール ジョイント仕様	47
6-4. 生地の着脱手順	48
6-5. バッテリーとモーターの着脱手順	48
6-6. ボールチャージの取り付け手順（Type-C 充電モデルのみ）	48
7. 操作方法	49
ボタンタイプ / 電動タイプ 共通	
8. サイズ定義と公差	50
9. 機能レベル別生地分類	51
10. お手入れ方法	52
11. 製品特性	53
12. 保証について	54



ボタンタイプ

※ 配色表は別紙参照



製作可能寸法			
	幅	高さ	最大面積
単窓	448mm~7200mm	674mm~3600mm	22㎡
連窓	397mm~7200mm	674mm~3600mm	22㎡

※ 製品幅が2401mm以上の場合、ヘッドレールを分割する「ジョイント仕様」で製作し、分割された状態で納品されます。



※ 防災対応生地はファブリックパターン「プレーン」「バシフィック」「ストライプ」の3種類です。

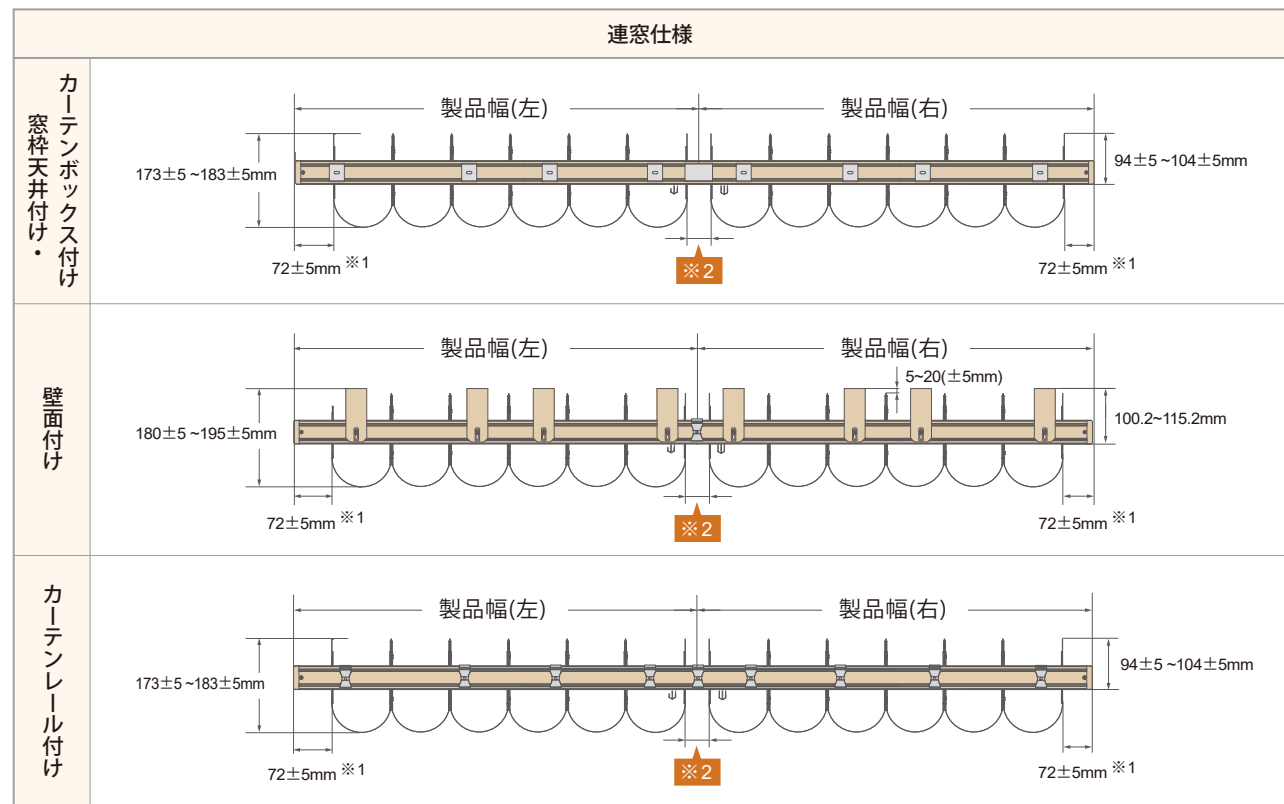
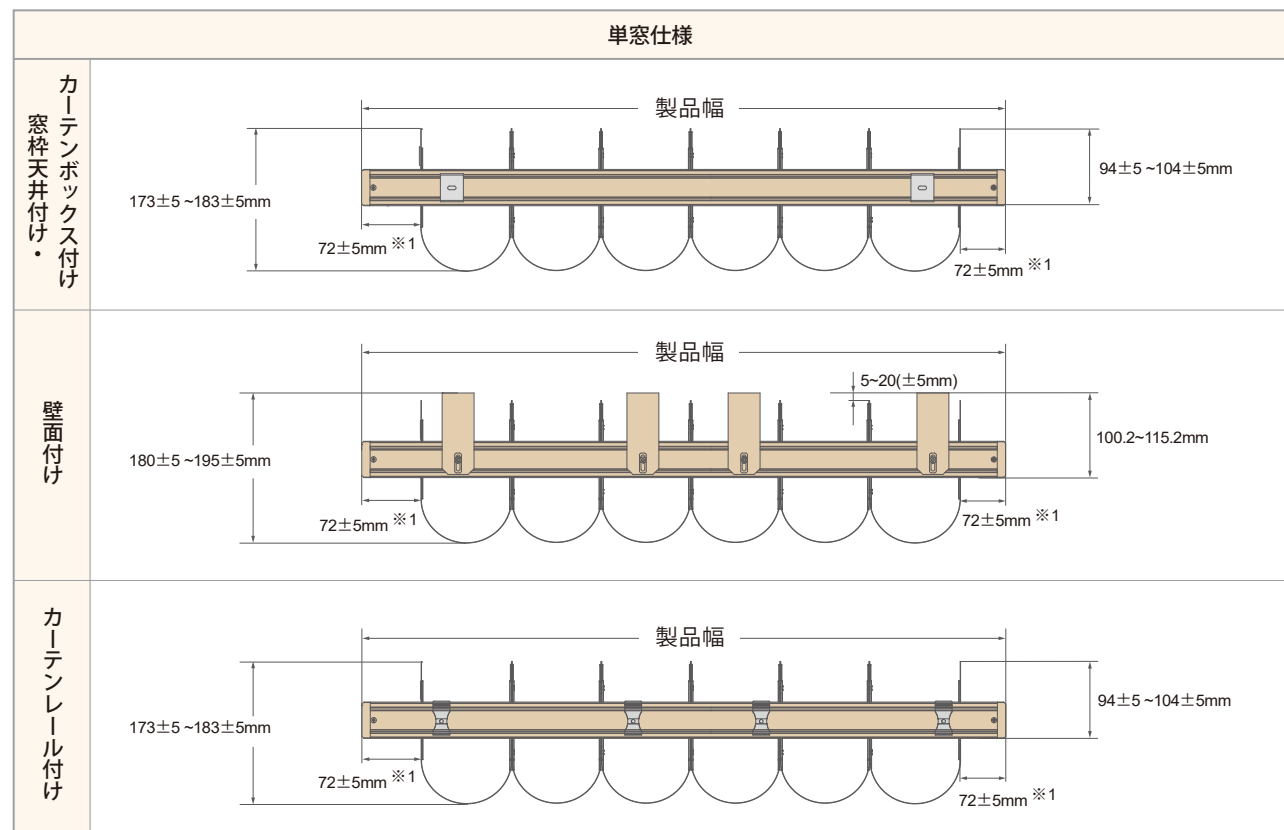
部品名	材質	備考
(1) ブラケット※1	アルミニウム	※3
(2) ブラケット取り付けネジ ※1	メタル	-
(3) C型クリップ※2	メタル	-
(4) ヘッドレール	アルミニウム	※3
(5) サイドキャップ	樹脂成型品	※3
(6) 回転操作メカ	樹脂成型品	※3
(7) シャフト	アルミニウム	-
(8) 生地クリップ固定セット	樹脂成型品	※3
(9) 生地クリップ	樹脂成型品	※3
(10) U型シェード	ポリエステル	生地詳細一覧表を参照
(11) バトン留め具	樹脂成型品	透明
(12) バトン	アルミニウムおよび樹脂成型品	※3

- ※1 壁面付けの場合のみ使用します。
- ※2 壁面付け、カーテンレール付けで使用します。
- ※3 部品の色は生地に合わせて弊社規定でコーディネートされ、ホワイト、コテージホワイト、ブラックの3色から選ばれます。詳細は「生地詳細一覧と部品配色表」をご確認ください。

■ 取り付けタイプ別金具

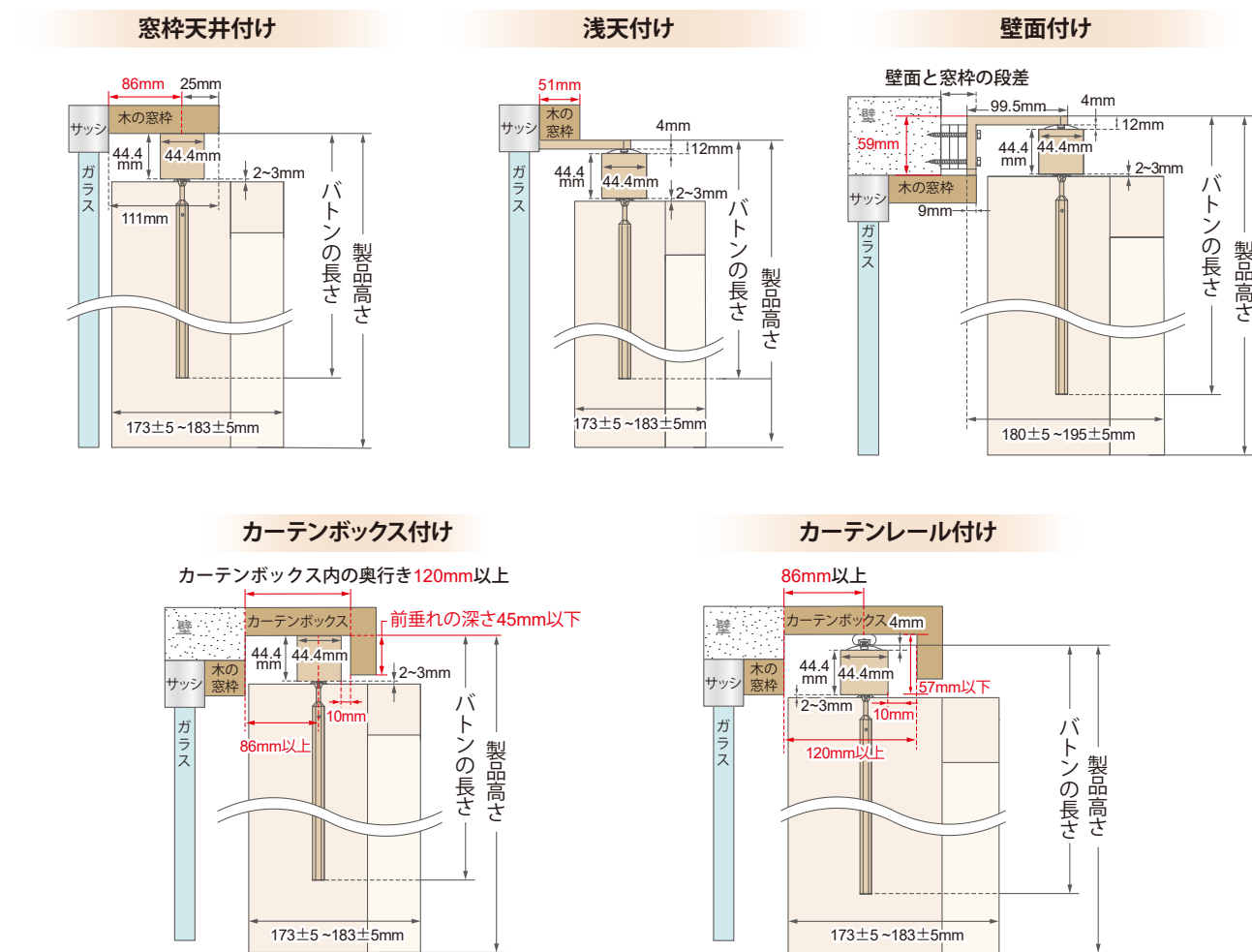
取り付けタイプ	部品名	部品説明図
窓枠天井付け カーテンボックス付け	直付けガasket	
壁面付け	ブラケット (C型クリップ付き)	
浅天付け	ブラケット (C型クリップ付き)	
カーテンレール付け (窓枠内/カーテンボックス内)	C型クリップ	
	H型金具	

■ 平面図 (最大採光状態)

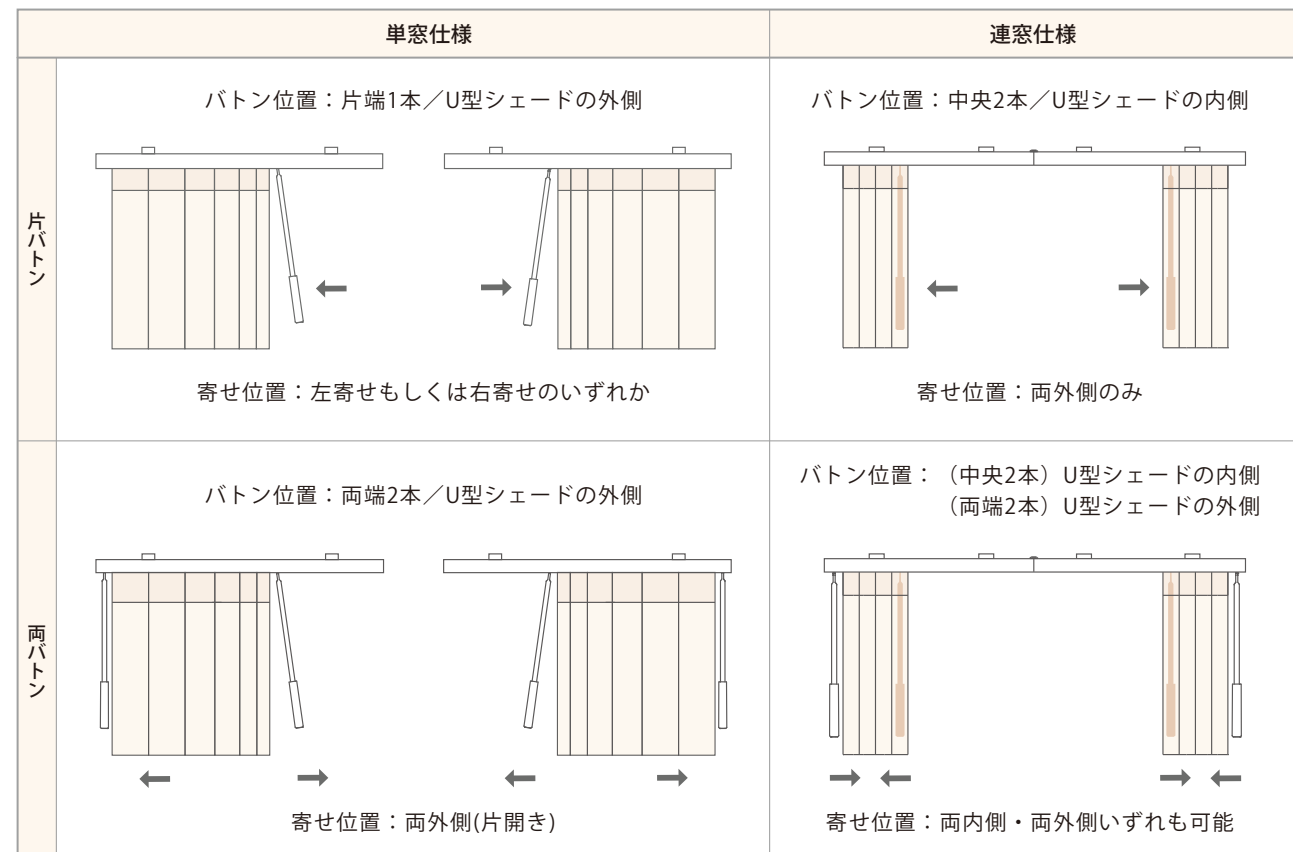


- ※ 1 製品構造上、最大採光状態時は、各端からからサイドキャップまで72±5mmの隙間が生じます。
- ※ 2 連窓仕様の場合、中央部に操作用バトンが配置されているため、最大採光状態ではバトン周辺に隙間が生じます。
この隙間の大きさは、製品の寸法に応じて異なります。(P.9参照)
なお、遮光状態では隙間は生じません。

■ 断面図 (単窓/連窓仕様共通)



1-1 バトン位置とシェードの寄せ位置



1-2 製品幅の定義とシェードの枚数 — 単窓仕様 —

■ 製品幅：ヘッドレールのサイドキャップ左端から右端まで ■ 製作可能寸法：448mm～7200mm

- A

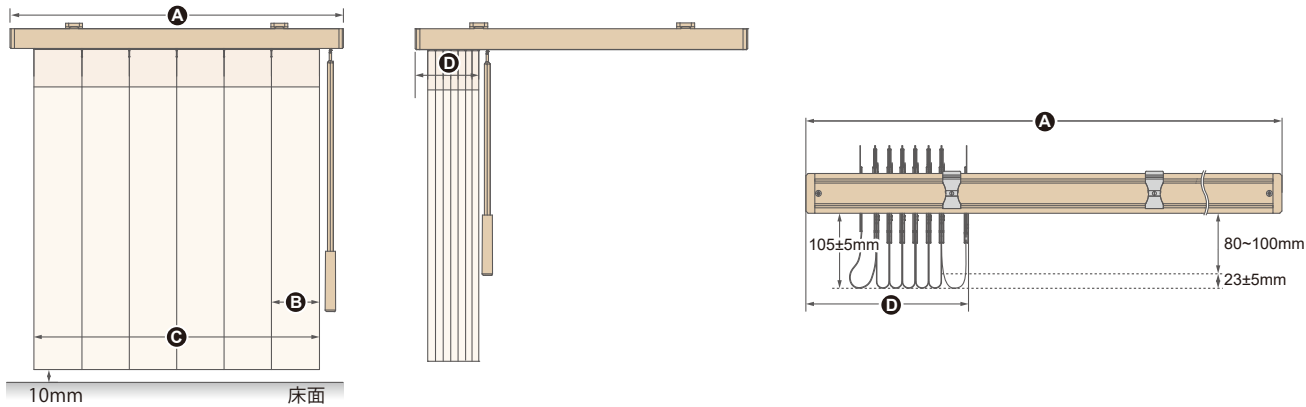
製品幅
- B

U型シェード総枚数
- C

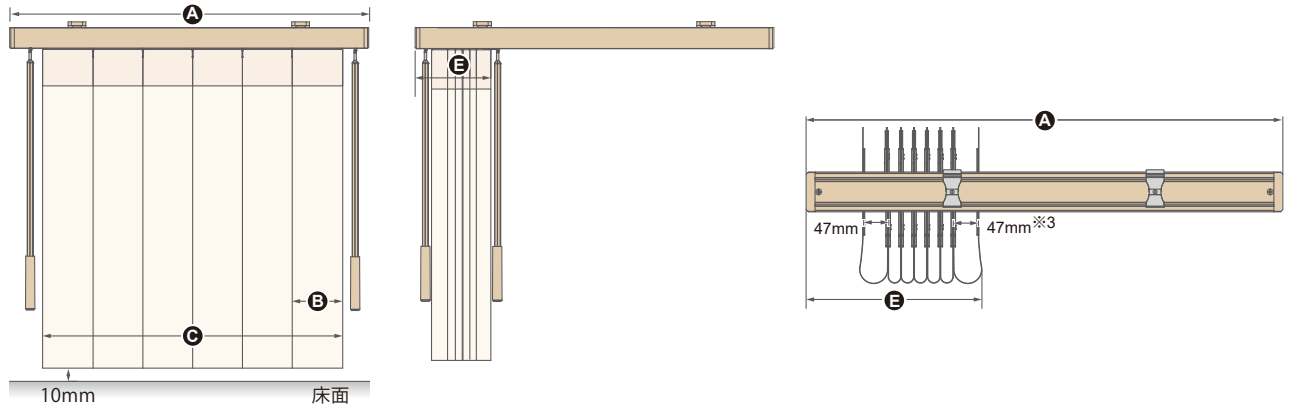
レール開口時の正面シェード幅^{※1}
- D

■ E
- 畳代
- ^{※2}

片ボタン ボタン位置：U型シェードの外側



両ボタン ボタン位置：U型シェードの外側



※1 生地特性により、図表C幅には±6mm程度の誤差が生じる可能性があります。
※2 畳代は目安であり、±20mmの誤差が生じます。表内の数字を保証するものではありません。
※3 両端の生地はストッパーが入るため、他の生地より畳み幅が広がります。

■ 製品幅とシェード枚数相関表

製品幅に応じたシェード枚数 (B)、レース開口時の正面シェード幅 (C)、畳代寸法 (D・E) は以下の通りです。
なお、シェードを均等なU型に配置するための製品幅は★列の数値となります。

◎ 製品幅が2401mm以上の場合、ヘッドレールは連結仕様で製作され、分割された状態で納品されます。
なお、シェードの枚数や畳代寸法には影響ありません。

製品幅 A	B	★	※1 C	※2 D	※2 E
448	3	448	308	161	280
449~549	4	549	410	176	291
550~651	5	651	511	191	306
652~753	6	753	613	206	321
754~855	7	855	714	221	280
855~956	8	956	816	236	295
957~1057	9	1057	918	251	310
1058~1159	10	1159	1019	266	325
1160~1261	11	1261	1121	281	336
1262~1362	12	1362	1222	296	347
1363~1464	13	1464	1324	311	359
1465~1565	14	1565	1426	311	370
1566~1667	15	1667	1527	322	381
1668~1769	16	1769	1629	333	392
1770~1870	17	1870	1730	344	403
1871~1972	18	1972	1832	356	415
1973~2073	19	2073	1934	367	459
2074~2175	20	2175	2035	378	471
2176~2277	21	2277	2137	389	482
2278~2378	22	2378	2238	400	493
2379~2480	23	2480	2340	412	504
2481~2581	24	2581	2442	423	515
2582~2683	25	2683	2543	434	527
2684~2785	26	2785	2645	445	538
2786~2886	27	2886	2746	456	549
2887~2988	28	2988	2848	468	560
2989~3089	29	3089	2950	479	571
3090~3191	30	3191	3051	490	583
3192~3293	31	3293	3153	501	594
3294~3394	32	3394	3254	512	605
3395~3496	33	3496	3356	524	616
3497~3597	34	3597	3458	535	627
3598~3699	35	3699	3559	546	639
3700~3801	36	3801	3661	557	650
3802~3902	37	3902	3762	568	661
3903~4004	38	4004	3864	580	672
4005~4105	39	4105	3966	591	683
4106~4207	40	4207	4067	602	695
4208~4309	41	4309	4169	613	706
4310~4410	42	4410	4270	624	717
4411~4512	43	4512	4372	636	728
4513~4613	44	4613	4474	647	739
4614~4715	45	4715	4575	658	751
4716~4817	46	4817	4677	669	762

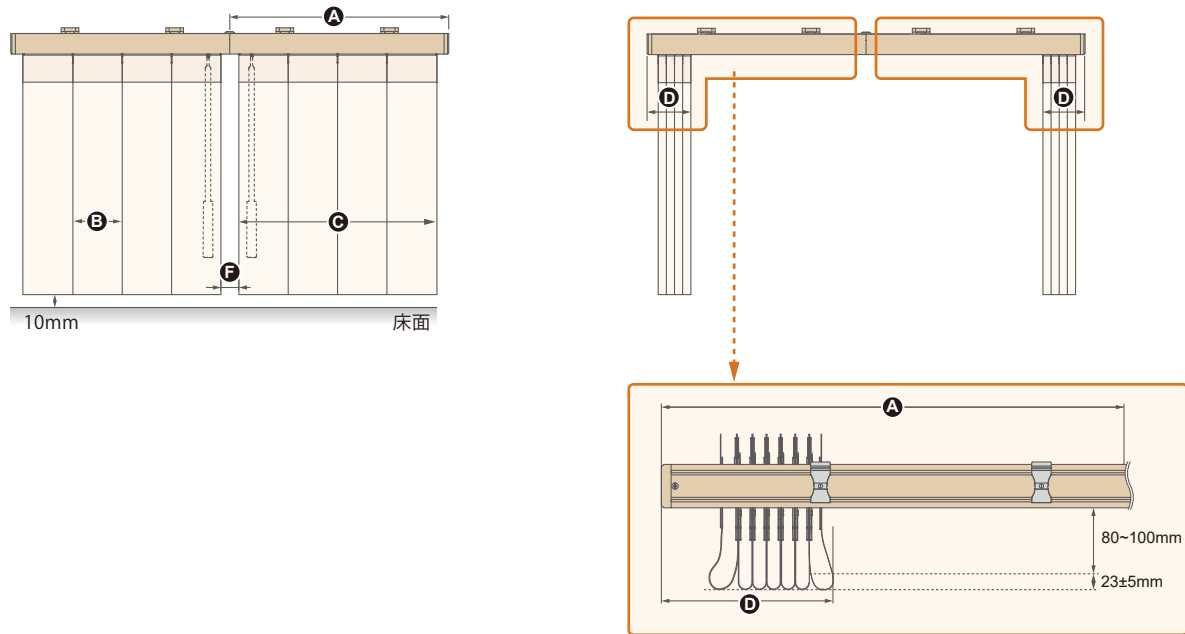
製品幅 A	B	★	※1 C	※2 D	※2 E
4818~4918	47	4918	4778	680	773
4919~5020	48	5020	4880	692	784
5021~5121	49	5121	4982	703	795
5122~5223	50	5223	5083	714	807
5224~5325	51	5325	5185	725	818
5326~5426	52	5426	5286	736	829
5427~5528	53	5528	5388	748	840
5529~5629	54	5629	5490	759	851
5630~5731	55	5731	5591	770	863
5732~5833	56	5833	5693	781	874
5834~5934	57	5934	5794	792	885
5935~6036	58	6036	5896	804	896
6037~6137	59	6137	5998	815	907
6138~6239	60	6239	6099	826	919
6240~6341	61	6341	6201	837	930
6342~6442	62	6442	6302	848	941
6443~6544	63	6544	6404	860	952
6545~6645	64	6645	6506	871	963
6646~6747	65	6747	6607	882	975
6748~6849	66	6849	6709	893	986
6850~6950	67	6950	6810	904	997
6951~7052	68	7052	6912	916	1008
7053~7153	69	7153	7014	927	1019
7154~7200	70	7200	7115	938	1031

1-2 製品幅の定義とシェードの枚数 — 連窓仕様 —

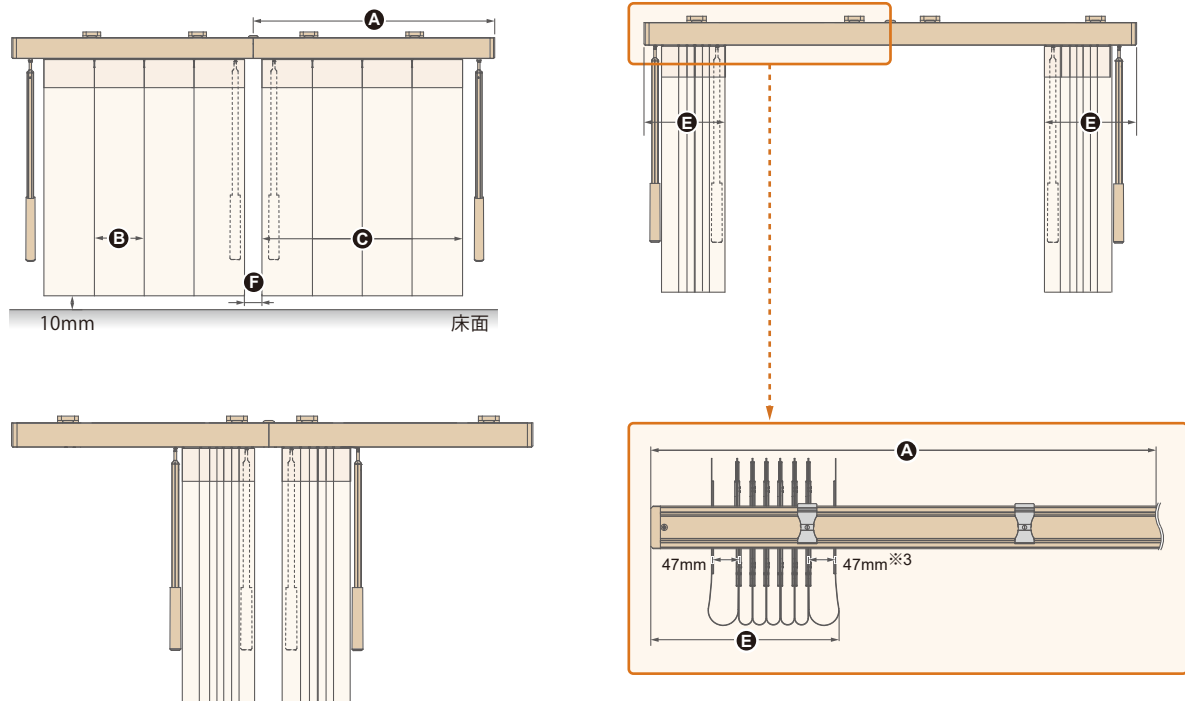
■ 製品幅：ヘッドレールのサイドキャップ左端から右端まで ■ 製作可能寸法：397mm～7200mm

- A** レール幅
- B** U型シェード総枚数
- C** レール開口時の正面シェード幅※1
- D E** 畳代※2
- F** 中央部の隙間

両開き・中央バトン バトン位置：U型シェードの内側 生地 の 畳み込み：両外側のみ



両バトン バトン位置：(中央)U型シェードの内側 (両端)U型シェードの外側
生地 の 畳み込み：両内側・両外側いずれも可能



※1 生地特性により、図表C幅には±6mm程度の誤差が生じる可能性があります。
※2 畳代は目安であり、±20mmの誤差が生じます。表内の数字を保証するものではありません。
※3 両端の生地はストッパーが入るため、他の生地より畳み幅が広がります。

■ レール幅とシェード枚数相関表

レール幅に応じたシェード枚数 (B)、レース開口時の正面シェード幅 (C)、畳代寸法 (D・E) は以下の通りです。
なお、シェードを均等なU型に配置するためのレール幅は★列の数値となります。

◎ 製品幅が2401mm以上の場合、ヘッドレールは連結仕様で製作され、分割された状態で納品されます。
なお、シェードの枚数や畳代寸法には影響ありません。

レール幅 A	B	★	※1 C	※2 D	※2 E
397	3	397	308	180	280
398~499	4	499	410	195	291
500~600	5	600	511	210	306
600~702	6	702	613	225	321
703~803	7	803	714	240	280
804~905	8	905	816	255	295
906~1007	9	1007	918	270	310
1008~1108	10	1108	1019	285	325
1109~1210	11	1210	1121	300	336
1211~1311	12	1311	1222	315	347
1312~1413	13	1413	1324	330	359
1414~1515	14	1515	1426	341	370
1516~1616	15	1616	1527	352	381
1617~1718	16	1718	1629	364	392
1719~1819	17	1819	1730	375	403
1820~1921	18	1921	1832	386	415
1922~2029	19	2029	1934	397	459
2030~2130	20	2130	2035	408	471
2131~2232	21	2232	2137	420	482
2233~2334	22	2334	2238	431	493
2335~2435	23	2435	2340	442	504
2436~2537	24	2537	2442	453	515
2538~2638	25	2638	2543	464	527
2639~2740	26	2740	2645	476	538
2741~2842	27	2842	2746	487	549
2843~2943	28	2943	2848	498	560
2944~3045	29	3045	2950	509	571
3046~3146	30	3146	3051	520	583
3147~3248	31	3248	3153	532	594
3249~3350	32	3350	3254	543	605
3351~3451	33	3451	3356	554	616
3452~3553	34	3553	3458	565	627
3554~3661	35	3661	3559	576	639
3662~3762	36	3762	3661	588	650
3763~3864	37	3864	3762	599	661
3865~3966	38	3966	3864	610	672
3967~4067	39	4067	3966	621	683
4068~4169	40	4169	4067	632	695
4170~4270	41	4270	4169	644	706
4271~4372	42	4372	4270	655	717
4373~4474	43	4474	4372	666	728
4475~4575	44	4575	4474	677	739
4576~4677	45	4677	4575	688	751
4678~4778	46	4778	4677	700	762

レール幅 A	B	★	※1 C	※2 D	※2 E
4779~4880	47	4880	4778	711	773
4881~4982	48	4982	4880	722	784
4983~5083	49	5083	4982	733	795
5084~5185	50	5185	5083	744	807
5186~5286	51	5286	5185	756	818
5287~5388	52	5388	5286	767	829
5389~5496	53	5496	5388	778	840
5497~5598	54	5598	5490	789	851
5599~5699	55	5699	5591	800	863
5700~5801	56	5801	5693	812	874
5802~5902	57	5902	5794	823	885
5903~6004	58	6004	5896	834	896
6005~6106	59	6106	5998	845	907
6107~6207	60	6207	6099	856	919
6208~6309	61	6309	6201	868	930
6310~6410	62	6410	6302	879	941
6411~6512	63	6512	6404	890	952
6513~6614	64	6615	6506	901	963
6615~6716	65	6716	6607	912	975
6716~6817	66	6817	6709	924	986
6818~6919	67	6919	6810	935	997
6920~7020	68	7020	6912	946	1008
7021~7122	69	7122	7014	957	1019
7123~7200	70	7200	7115	968	1031

■ 中央部の隙間寸法目安 ㊦

連窓仕様の場合、中央部に操作用バトンが配置されているため、最大採光状態ではバトン周辺に隙間が生じます。
この隙間の大きさは、製品の寸法に応じて異なります。
なお、遮光状態では隙間は生じません。

製品幅 (左)	製品幅 (右)	隙間 (±6mm)
～ 1981mm	～ 1981mm	38
～ 1981mm	1982mm ～ 3657mm	45
～ 1981mm	3658mm ～ 5486mm	51
～ 1981mm	5487mm ～ 7200mm	57
1982mm ～ 3657mm	1982mm ～ 3657mm	51
3658mm ～ 5486mm	1982mm ～ 3657mm	57
5487mm ～ 7200mm	1982mm ～ 3657mm	64
3658mm ～ 5486mm	3658mm ～ 5486mm	64
5487mm ～ 7200mm	3658mm ～ 5486mm	70
5487mm ～ 7200mm	5486mm ～ 7200mm	76

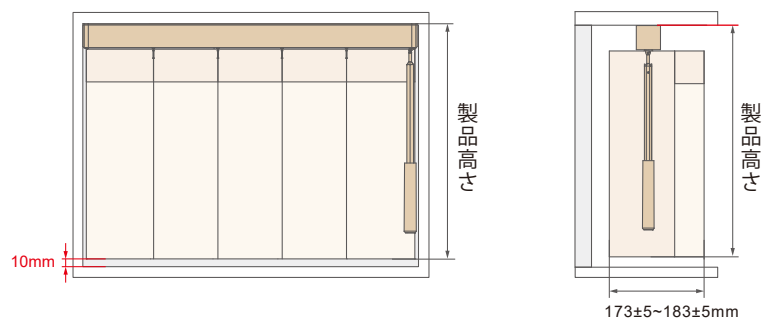
1-3 製品高さ

製品高さ	単窓	連窓
	674~3600mm	

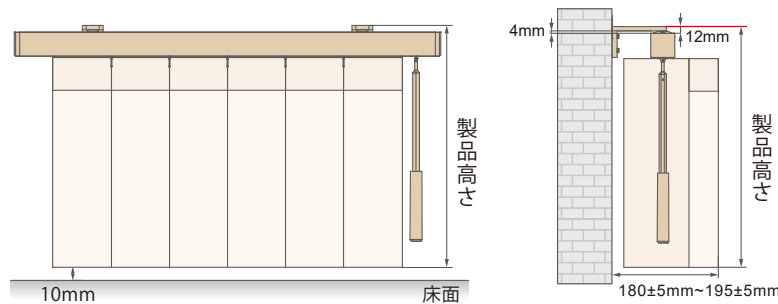
製品高さの定義は取り付けタイプによって異なります。

全取り付けタイプ共通で、シェードの下端から床面または干渉物の間には**10mm**以上の隙間が必要です。

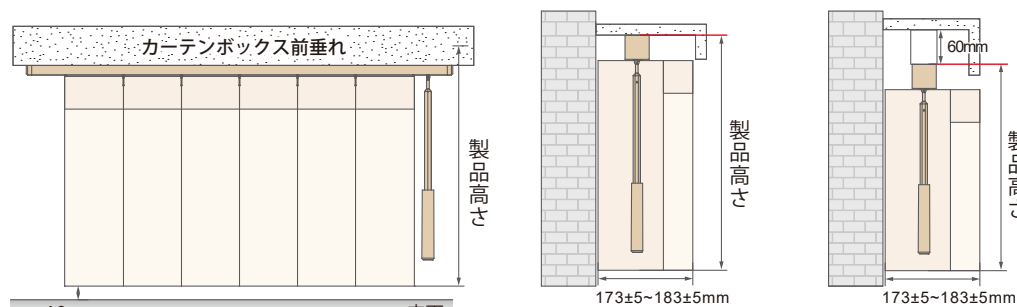
窓枠天井付けの場合 設置面からシェードの下端まで



壁面付け・浅天付けの場合 ブラケットの上面からシェードの下端まで



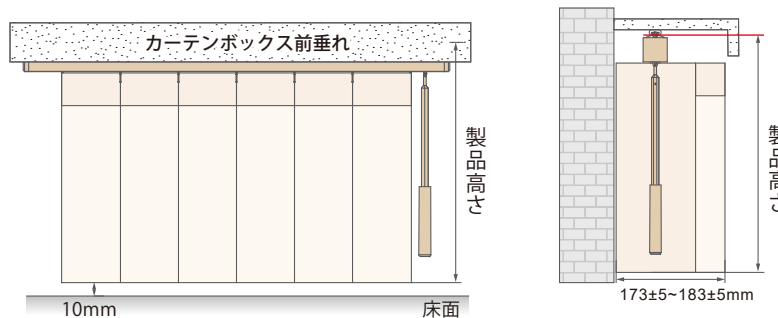
カーテンボックス付けの場合 設置面からシェードの下端まで



▲ 木製スペーサー使用の場合

※ 製品高さに木製スペーサーの高さは含まれません。木製スペーサーの使用条件はP.17をご参照ください。

カーテンレール付けの場合 カーテンレールの下面からシェードの下端まで



※ カーテンレール付けの場合、木製スペーサーは使用できません。

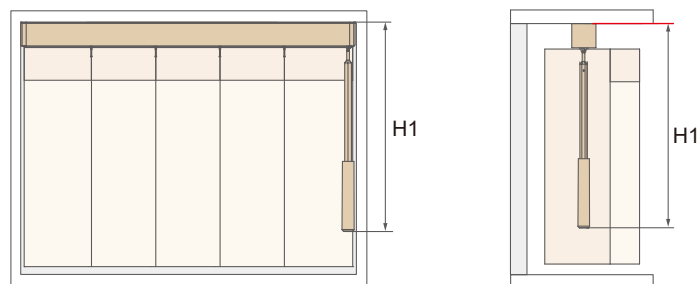
1-4 バトンの長さ 全取り付けタイプ共通

バトンは製品高さに応じて、下記表の通り製作します。なお、バトンの長さの定義は取り付けタイプによって異なります。

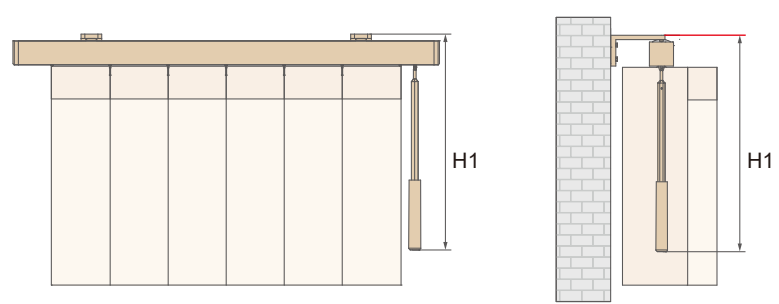
製品高さ	674~1523mm	1524~1828mm	1829~2666mm	2667~3000mm	3001~3600mm
バトンの長さ(H1)	609mm	914mm	1219mm	1651mm	2000mm

ご要望に応じて、バトンの長さを指定することができます。製作可能長さ：368mm~2500mm(10mm単位)

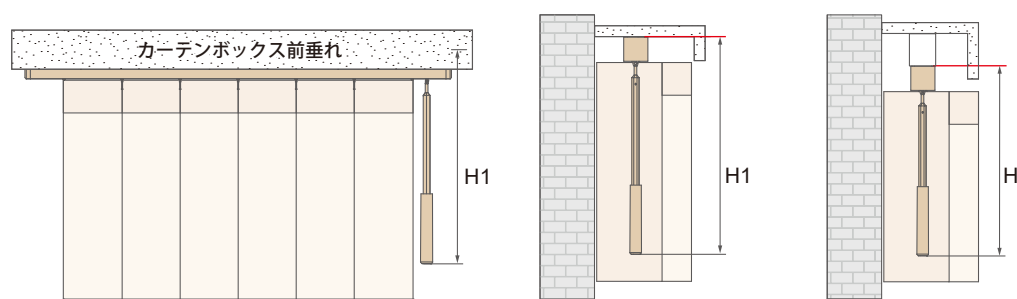
窓枠天井付けの場合 設置面からバトンの下端まで



壁面付け・浅天付けの場合 ブラケットの上面からバトンの下端まで



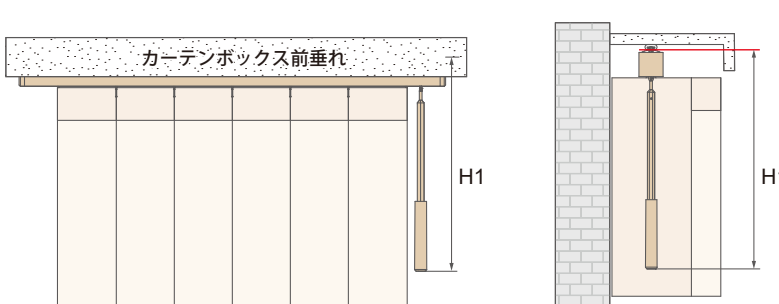
カーテンボックス付けの場合 設置面からバトンの下端まで



▲ 木製スペーサー使用の場合

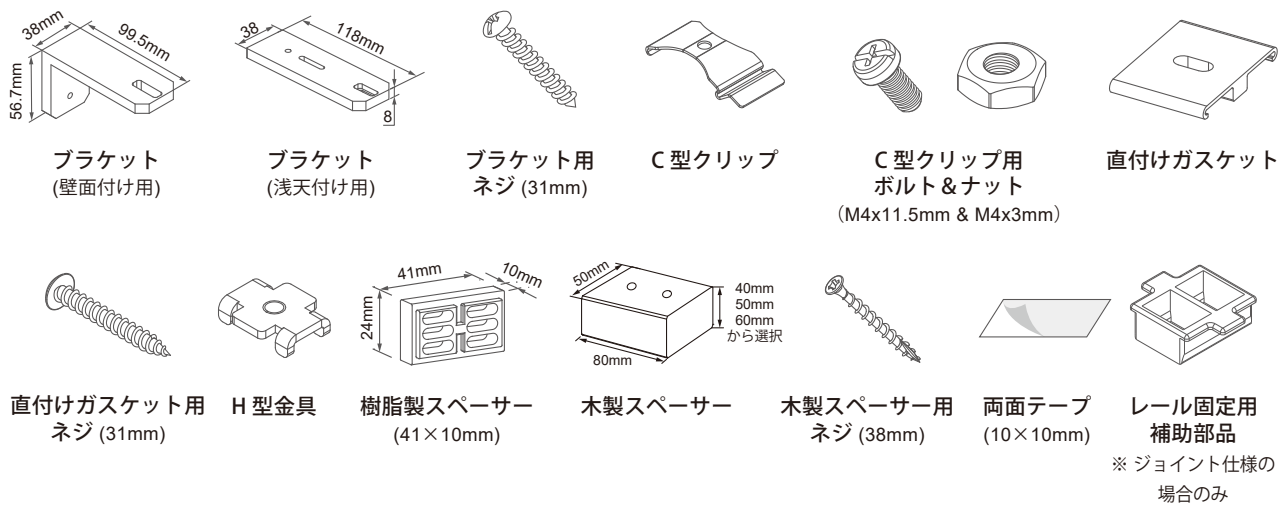
※ バトンの長さに木製スペーサーの高さは含まれません。木製スペーサーの使用条件はP.17をご参照ください。

カーテンレール付けの場合 カーテンレールの下面からバトンの下端まで



01 仕様と構造

1-5 付属部品の数



■ 壁面付け・浅天付けの場合

製品幅	ブラケット	ブラケット用ネジ※1	C型クリップ	C型クリップ用ボルト	C型クリップ用ナット	樹脂製スパーサー※2	両面テープ
1829mm以下	2	4	2	2	2	2	6+スパーサー数
1830mm以上	3	6	3	3	3	3	9+スパーサー数

- ◎ 表の数量はヘッドレールが分割されない場合を基準としています。
製品幅が2401mm以上のジョイント仕様では、ヘッドレールが分割された長さに応じて数量が調整されます。
- ◎ 通常、樹脂製スパーサーは付属しません。周辺環境に応じて、樹脂製スパーサー1〜3連をお選びいただけます。必要な場合は注文時に必ずご指定ください。

- ※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボード等)には使用できません。
通常は31mmのネジが付属します。ただし、樹脂製スパーサーを使用する際は、1連：38mm、2連：51mm、3連：63.5mmのネジが付属します。
- ※2 表の数量は1連の場合を基準としています。2連や3連の場合は、「C型クリップ数 × スパーサー連数」で算出した数量が付属します。

■ 窓枠天井付け・カーテンボックス付けの場合

製品幅	直付けガasket	直付けガasket用ネジ※1 ※2	樹脂製スパーサー	木製スパーサー	木製スパーサー用ネジ※1	両面テープ
1829mm以下	2	2	2	2	4	2
1830mm以上	3	3	3	3	6	3

- ◎ 表の数量はヘッドレールが分割されない場合を基準としています。
製品幅が2401mm以上のジョイント仕様では、ヘッドレールが分割された長さに応じて数量が調整されます。
- ◎ 通常、樹脂製スパーサーおよび木製スパーサーは付属しません。カーテンボックスの深さに応じて、樹脂製スパーサー（1〜3連）または木製スパーサー（40mm/50mm/60mm）をお選びいただけます。必要な場合は注文時に必ずご指定ください。なお、樹脂製スパーサーと木製スパーサーは併用できません。

- ※1 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボード等)には使用できません。
- ※2 通常は31mmのネジが付属します。ただし、カーテンボックス付けで樹脂製スパーサーを使用する際は、1連：38mm、2連：51mm、3連：63.5mmのネジが付属します。

■ カーテンレール付け場合

製品幅	C型クリップ	C型クリップ用ボルト	H型金具
1829mm以下	2	2	2
1830mm以上	3	3	3

- ◎ 表の数量はヘッドレールが分割されない場合を基準としています。
製品幅が2401mm以上のジョイント仕様では、ヘッドレールが分割された長さに応じて数量が調整されます。

1-6 製品重量と生地重量の目安

項目	取り付けタイプ/ボタン位置	計算式
ヘッドレール部(kg) A	片ボタン	製品幅(m)×1.2kg + 0.48kg
	両ボタン	製品幅(m)×1.2kg + 0.5kg
生地部(kg) B	窓枠天井付け・カーテンボックス※1・カーテンレール付け	製品幅(m)×4.1×製品高さ(m)×生地重量目安(kg/㎡)
	壁面付け※2	製品幅(m)×3.9×製品高さ(m)×生地重量目安(kg/㎡)

総重量(kg)	ヘッドレール部 A + 生地部 B
---------	---------------------------------

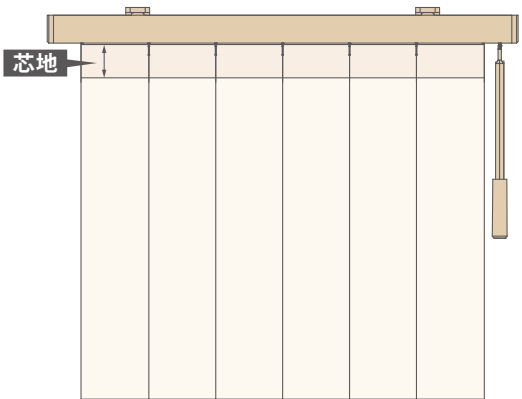
- ※1 カーテンボックス付けで木製スパーサーを使用する場合、木製スパーサーの高さを除いた高さで計算してください。
- ※2 壁面付けの場合、ブラケットの厚み（9mm）を除いた製品高さで計算してください。

生地重量目安	
生地種類	重量kg/㎡
採光防炎生地	0.19
採光生地	0.183
遮光防炎生地	0.294
遮光生地	0.296

1-7 シェード芯地の高さの目安

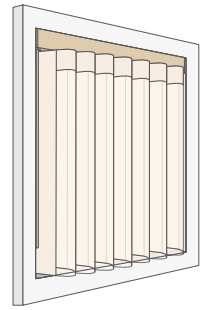
製品高さ	芯地の高さ
1981mm以下	100mm
1982mm以上	120mm

※ 数値は品質改良に伴い、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。



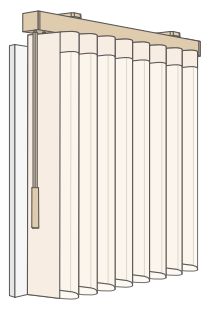
02 取り付けタイプ

窓枠天井付け / 浅天付け



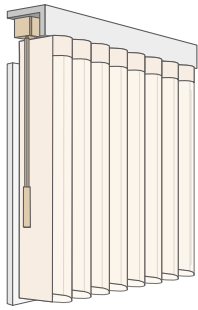
窓枠の内側に
取り付ける場合

壁面付け



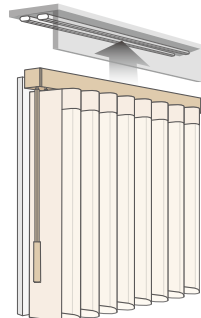
窓枠の上の壁面に
取り付ける場合

カーテンボックス付け



カーテンボックス内に
取り付ける場合

カーテンレール付け

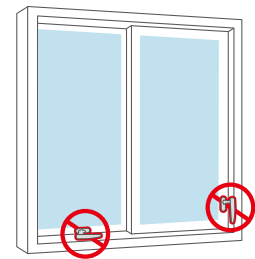


カーテンボックス内または窓枠内の
カーテンレールに取り付ける場合

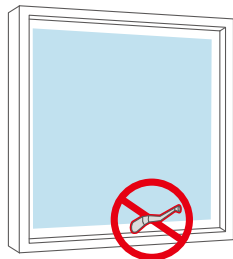
03 取り付け条件

3-1 窓枠天井付け・浅天付け

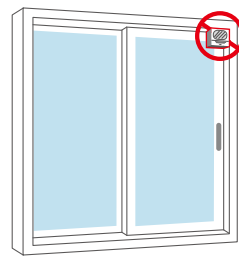
条件 1 障害物など干渉するものがないこと



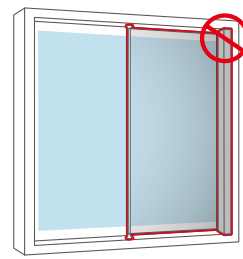
EX. ハンドル



クランク

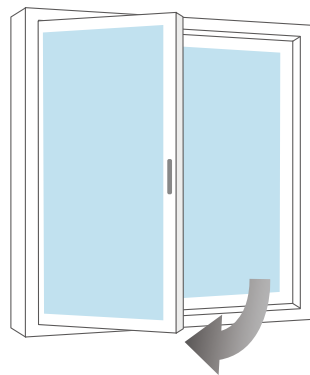


セキュリティーセンサー

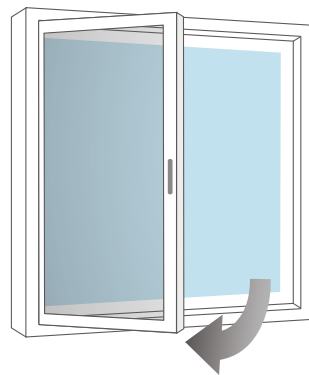


網戸の収納仕組

条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

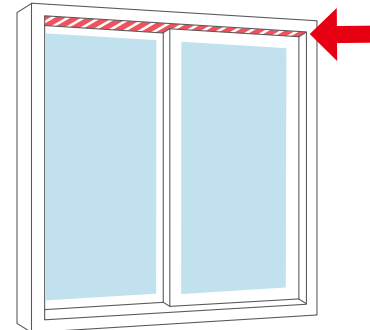


EX. 内開きの窓



内開きの網戸

条件 3 下地が木材であること



ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が
木材でできていること（金属では打ち込めず、
石膏ボードでは十分な強度がありません）

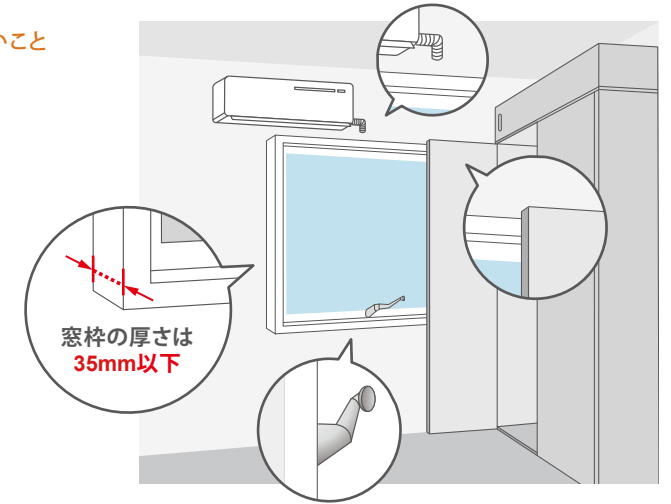
条件1、2に示した例は参考です。上例に限らず、取り付けや製品動作へ干渉する物等には十分ご注意ください。

03 取り付け条件

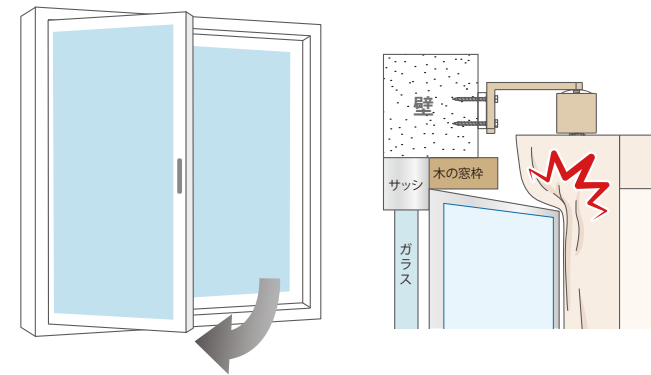
3-2 壁面付け

条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

- ・窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと。
- ・シェードの操作に支障をきたす箇所や、窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと。
- ・窓枠の厚さが **35mm** 以下であること。



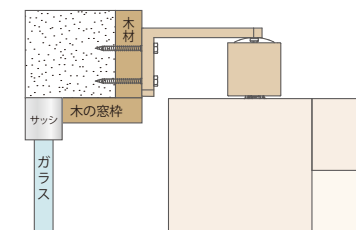
条件 2 内開き窓・内開き網戸の場合、開閉時の干渉を確認済であること



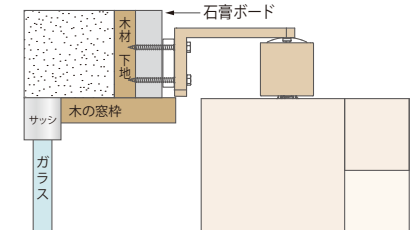
条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合は、製品同梱のネジで取り付けが可能です。

木材やベニヤの場合



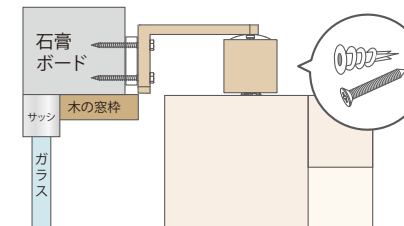
石膏ボードの下に木材の下地がある場合



ネジが下地まで届かない場合があるため、
下地までの距離をご確認ください。

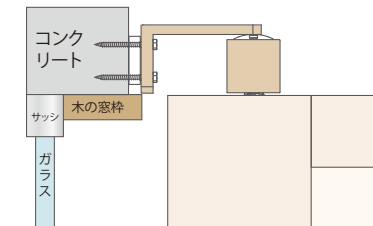
- 下地素材が下図の場合は、弊社のネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合



石膏ボード専用アンカーなどをご使用いただく
必要があります。※非推奨

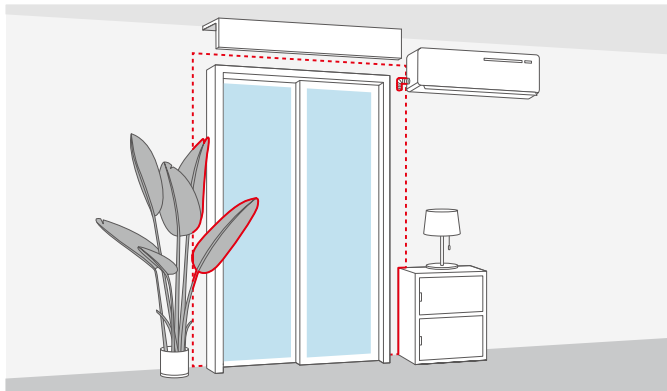
木材の下地がなく、コンクリートのみの場合



コンクリート専用ネジのご使用と、施工方法をご確認ください。

3-3 カーテンボックス付け

条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと



窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。

条件 2 取り付け箇所の必要寸法

カーテンボックスの奥行き寸法と前垂れの深さにご注意ください。
生地と干渉しないために必要な最低寸法は、P.17 をご参照ください。

3-4 カーテンレール付け

条件 1 設置カーテンレールが下記条件を満たすものであること

■ 注意 条件を満たさない場合、製品またはカーテンレールごと落下する恐れがあります。

① 製品重量が耐荷重量を満たしていること

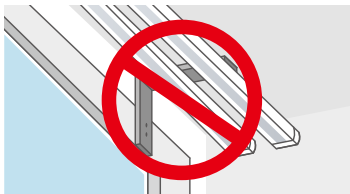
本製品の重量は、P.13「製品重量の目安」の計算式でご確認ください。

取り付けるカーテンレールの耐荷重量は、仕様書または型番を参照してください。

② カーテンレールの設置方法・形状・下地

・ 外付けカーテンレールの禁止

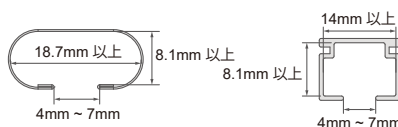
右図のような外付け式のカーテンレールは、シェード操作の負荷に耐えられず、事故の原因となるため使用しないでください。



・ 対応可能なカーテンレール

C型または角型の金属性カーテンレールのみ設置可能です。

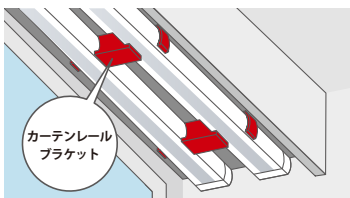
カーテンレールにブラケットが付いている仕様も設置可能です。



・ 取付方法の確認

カーテンレールが耐荷重量を支えられるよう適切に取り付けられているか確認してください。

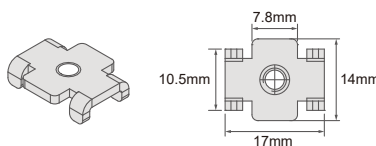
特に、軽量カーテン用に簡易的に設置されたレールは注意が必要です。



カーテンレールブラケット付き仕様

・ 取り付け時の金具使用の可否

取り付けの際は、製品に付属するH型金具を使用します。この金具を取り付けられるカーテンレールであることをご確認ください。

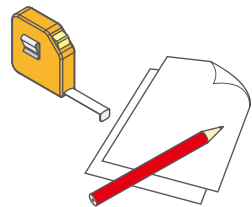


条件 2 取り付け箇所の必要寸法

既存カーテンレールの取り付け位置と前垂れの深さにご注意ください。
生地と干渉しないために必要な最低寸法は、P.17 をご参照ください。

取り付けタイプ	断面図と必要寸法	
	窓枠内にシェードを収める	最低限必要な窓枠の奥行き
窓枠天井付け/浅天付け		
壁面付け		
カーテンボックス付け		
カーテンレール付け		

※ 前垂れの深さが46mm以上の場合は、木製スペーサー(オプション) を利用し、ヘッドレール設置位置を下方に延ばすことで取り付け可能となります。



【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

【採寸時のご注意】

- ・新築等の図面上サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
- ・窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

5-1 製品構造に伴う推奨寸法と諸注意

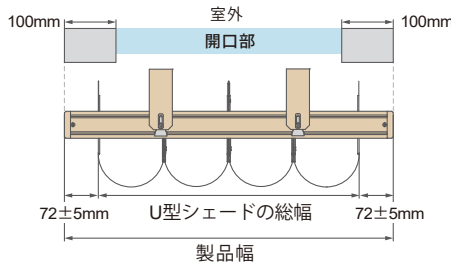
【製品幅】

製品構造上、最大採光状態時、各端からサイドキャップまで $72 \pm 5\text{mm}$ の隙間が生じます。

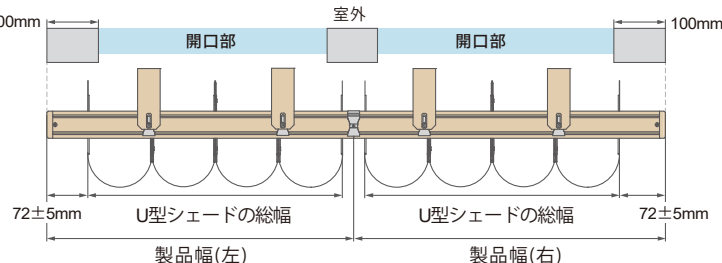
そのため、**壁面付け、カーテンボックス付け、カーテンレール付けの場合、開口幅の寸寸に左右各100mmを加えた寸法を推奨します。**

なお、周辺の巾木やコンセントなどの干渉物にご注意ください。

■ 単窓

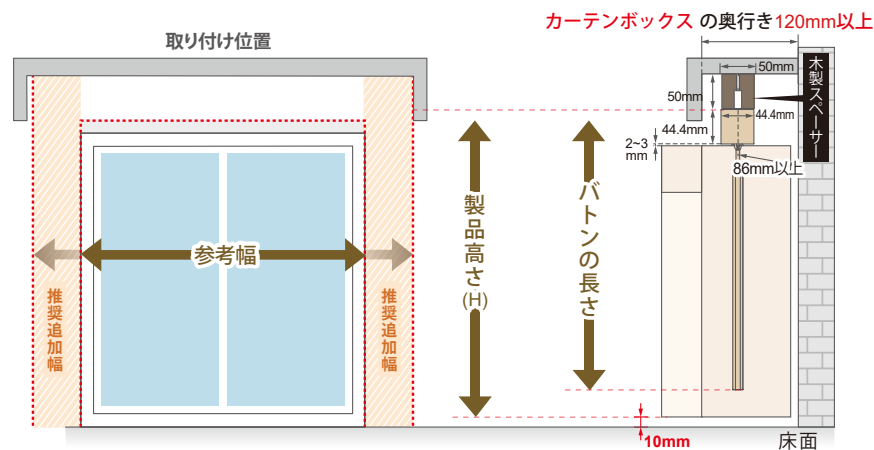


■ 連窓



【製品高さ】

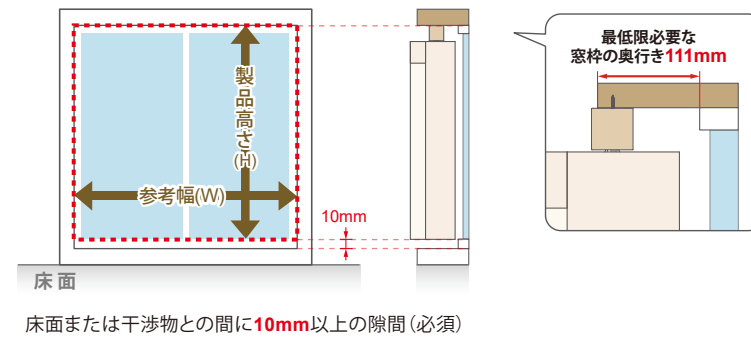
- ・「製品高さ」の定義は取り付けタイプによって異なりますが、原則として「製品設置面からシェードの下端まで」となります。なお、有料オプションのスペーサーをご使用の場合、その分は製品高さには含まれませんので、ご注意ください。
- ・全取り付けタイプ共通で、シェードの下端から床面または干渉物の間に**10mm以上の隙間**が必要です。



EX. カーテンボックス付け／木製スペーサーを使用して、カーテンボックス外にシェードを逃がす場合

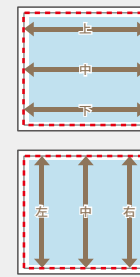
5-2 窓枠天井付け・浅天付け

製品高さ：設置面からシェードの下端まで



ご注意ください

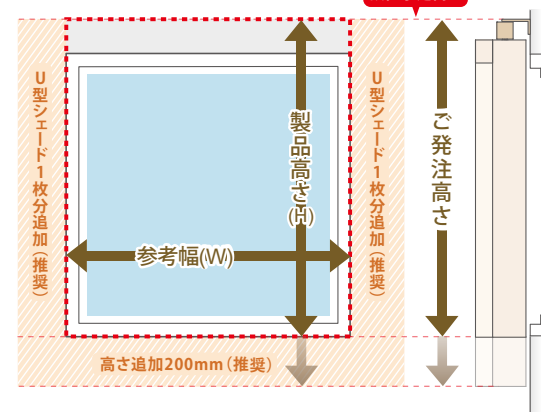
1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。
幅・高さともに3か所以上(上中下、左右中など)を採寸し、製品幅実寸でご注文ください。
2. 製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。
必ず下地が**木材の野縁部分**であることをご確認ください。



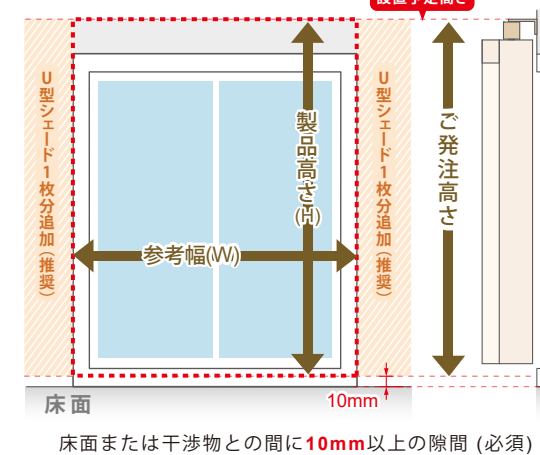
5-3 壁面付け

製品高さ：ブラケットの上面からシェードの下端まで

■ 腰高窓



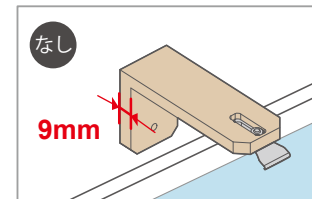
■ 掃き出し窓



窓枠の突出物を逃して取り付ける場合 — 樹脂製スペーサーの使用 —

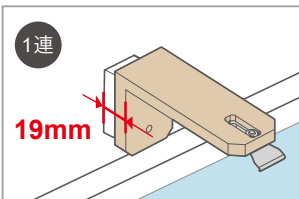
壁と窓枠に段差(突出物)がある場合、樹脂製スペーサーを使用することで、製品の取り付けが可能です。突出物の寸法に応じて、樹脂製スペーサーの個数を最大3つまで選択できます。それ以上の数が必要な場合は、壁面付け以外の取り付け方法をご検討ください。

突出寸法：0～9mm



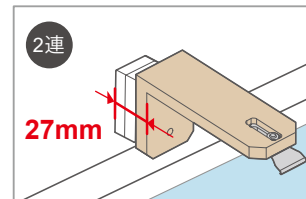
ブラケットの厚さ寸法9mm

突出寸法：10～19mm



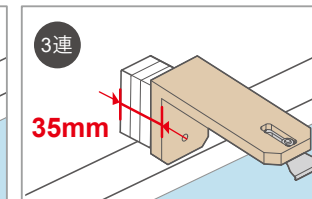
スペーサー+ブラケットの厚さ寸法19mm

突出寸法：20～27mm



スペーサー+ブラケットの厚さ寸法27mm

突出寸法：28～35mm

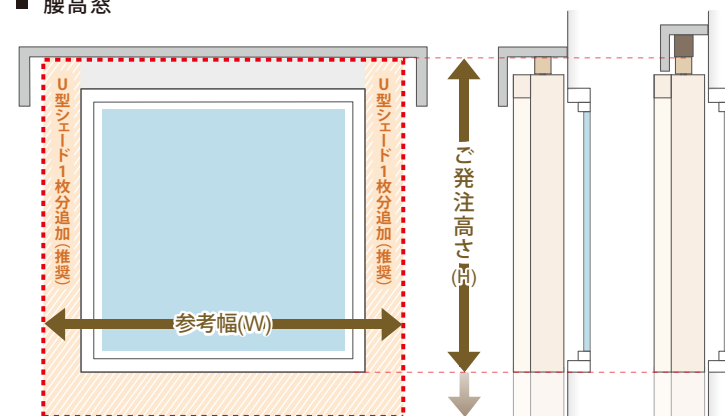


スペーサー+ブラケットの厚さ寸法35mm

5-4 カーテンボックス付け

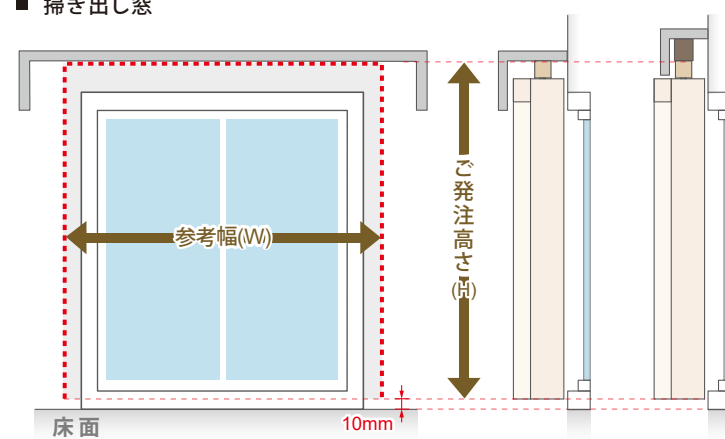
製品高さ：設置面からシェードの下端まで ※ 製品高さに木製スペーサーの寸法は含まれません。

■ 腰高窓



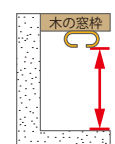
最低限覆いたい横幅を採寸してください。
※ 設置可能なカーテンボックスの幅を十分ご確認の上、製品幅が収まるようU型シェード枚数を調整してください。

■ 掃き出し窓



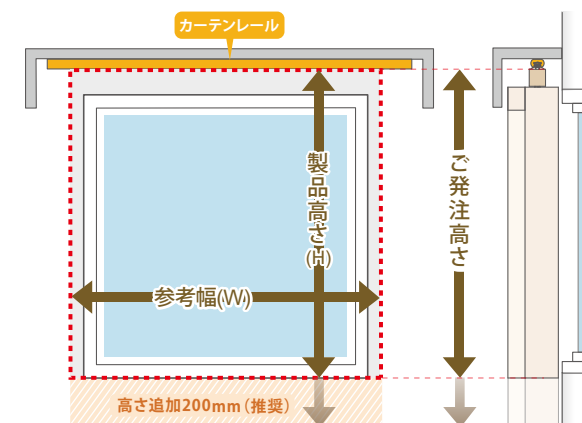
床面または干渉物との間に**10mm**以上の隙間（必須）

5-5 カーテンレール付け

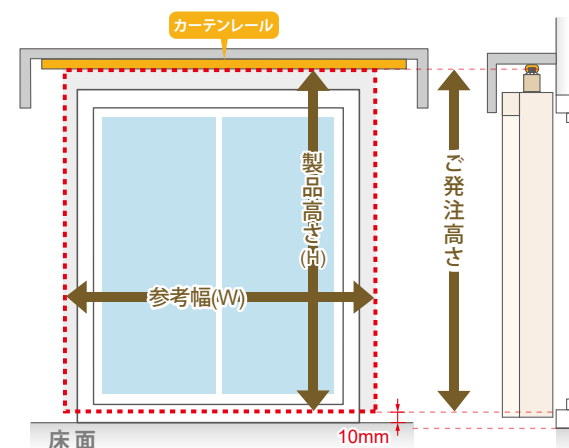


製品高さ：
カーテンレールの下面からシェードの下端まで

■ 腰高窓

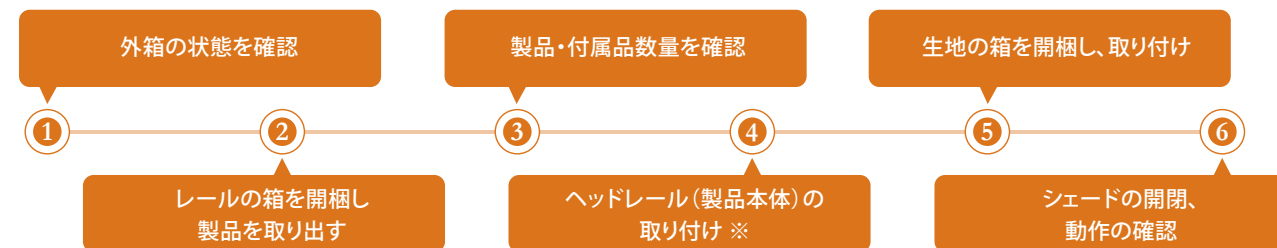


■ 掃き出し窓



床面または干渉物との間に**10mm**以上の隙間（必須）

6-1 取り付けの手順

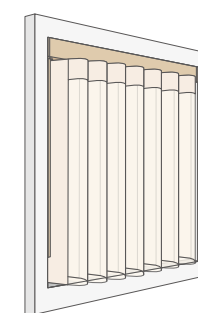


※ヘッドレールにボタンとランナーが付属した状態で納品されます。ヘッドレールの梱包を外す際、ボタンの結束も解いてください。
また、ボタンは可動範囲外へ動かさないよう注意してください。

6-2 ヘッドレール（製品本体）の取り付け

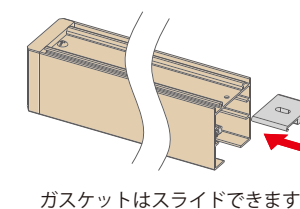
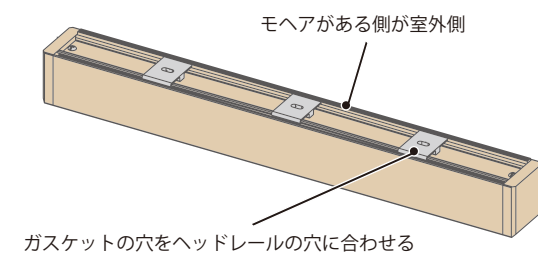
「ヘッドレール ジョイント仕様」の場合、P.25 も合わせてご覧ください。

窓枠天井付け（窓枠の内側に取り付け）



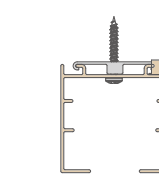
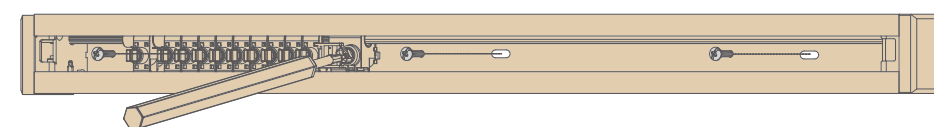
① 直付けガasketの位置の確認と調整

ヘッドレールに直付けガasketが付いた状態で納品されます。
モヘアがある側が室外側になるよう確認し、ガasketの穴をヘッドレールの穴に合わせて調整してください。



② ヘッドレールの固定

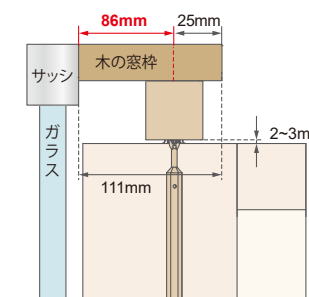
ヘッドレールの下側から確認し、図のようにランナー等のパーツが干渉しないネジ穴を選び、ネジを締めてください。
その後、パーツをスライドさせて残りのネジ穴を締めて固定します。



下側からネジを挿入し、上向きに締め付けて固定

■ ヘッドレール取り付け位置（前後位置）

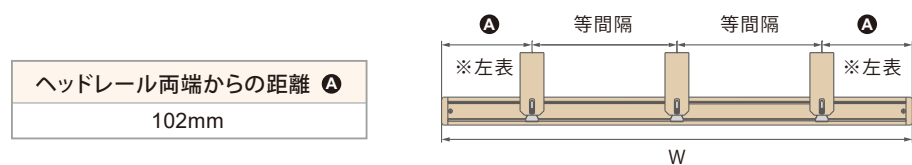
- ・窓枠からレールの中心（レール芯）まで **86mm**以上の位置



浅天付け

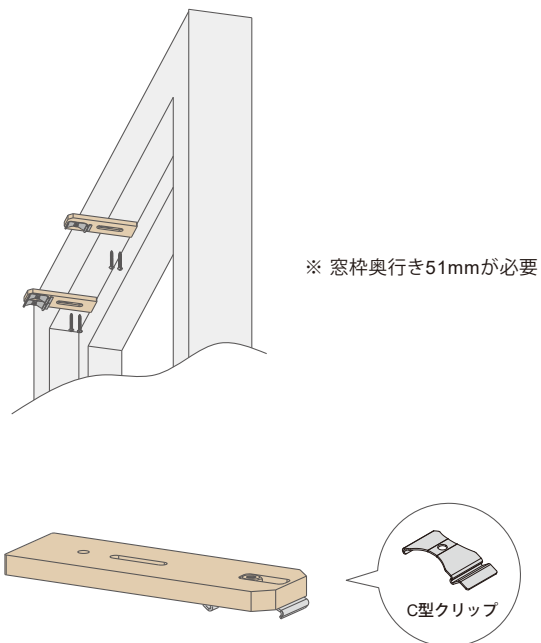
① ブラケット設置位置を確認

ヘッドレールを実際に設置する位置に合わせ、ヘッドレール両端の位置を確認しましょう。ブラケットを表内の設置位置の規定によって設置します。ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるように配置してください。



② ブラケットの固定

ブラケットは2本のネジで固定します。
採寸時と同様の高さ位置に取り付けてください。
全てのブラケットは必ず水平に、かつ高さ位置が揃うように注意して取り付けてください。
ブラケットが水平でないで故障や不具合の原因となります。

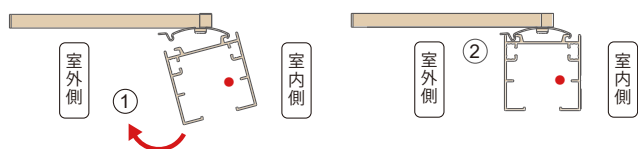


③ C型クリップの取り付け

下図の通り、ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。
C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。

④ ヘッドレールの取り付け

ヘッドレール室内側のツメをC型クリップ手前につけ①、ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側に噛み合わさるよう下から上に向けて回転させます②カチッと音がするまで押し込んでください。



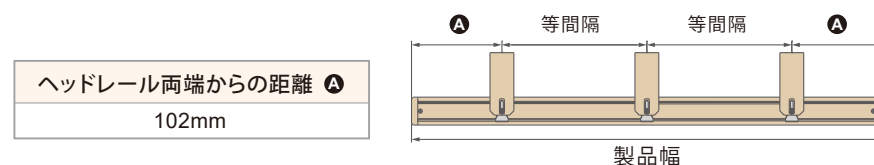
※ 製品情報ラベルが貼られている面は室外側、貼られていない面は室内側。

⚠ ヘッドレールの前後にご確認ください
シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

壁面付け (窓枠上の壁面に取り付け)

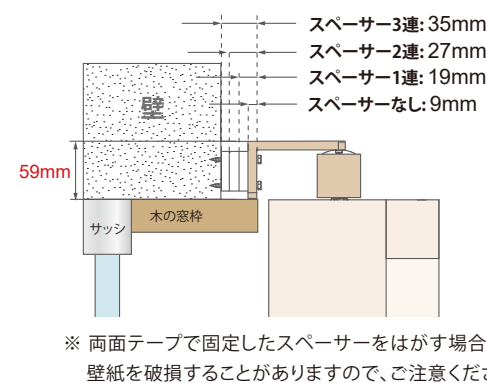
① ブラケット設置位置の確認

最初に、両端のブラケット位置を下記表の基準に従い決定します。
ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットを均等な間隔で配置してください。



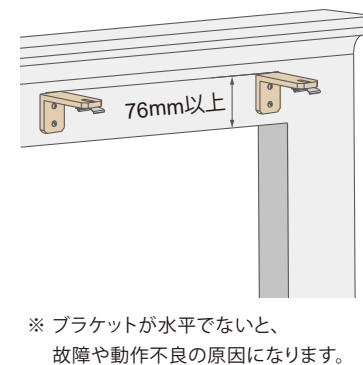
② 樹脂製スペーサーの仮止め *スペーサー使用時のみ

壁と窓枠に段差がある場合、樹脂製スペーサーを使用します。
ブラケット取り付け位置に、両面テープで樹脂製スペーサーを仮止めしてください。



③ ブラケットの固定

ブラケットは2本のネジで固定します。採寸時と同じ高さに取り付け、全てのブラケットの高さと水平が揃うよう注意してください。壁面の割れを防ぐため、ブラケットは図示の高さ(76mm以上)に取り付けてください。



■ ブラケットの取り付けについて

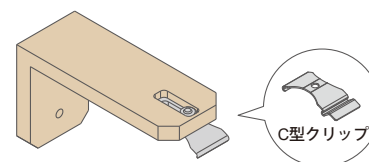
ブラケットは、ヘッドレールをしっかり固定するために、一直線で等間隔で取り付け、付属のネジで確実に固定します。
以下に、正しい例と誤った例を示していますので、取り付けの際に参考にしてください。

	正しい例 等間隔かつ一直線に揃っている	誤った例 一直線に揃っていない
俯瞰図		
正面図		

※ ブラケットを取り付け後、製品本体を取り付ける前に、ブラケットが一直線に揃っているか、必ずご確認ください。

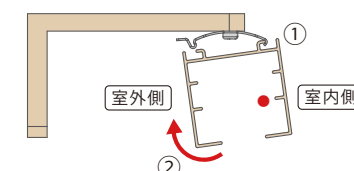
④ C型クリップの取り付け

ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。
C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。



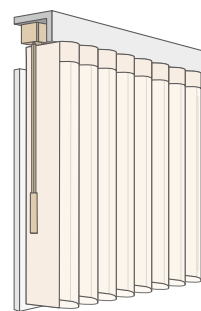
⑤ ヘッドレールの固定

① ヘッドレール室内側のツメをC型クリップの手前につけ、次に ② ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側にかみ合うように、下から上に回転させます。カチッと音がするまで押し込んでください。



⚠ ヘッドレールの前後にご確認ください
シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

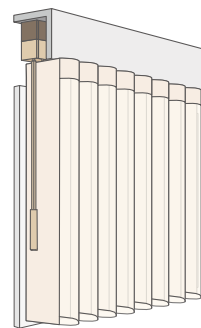
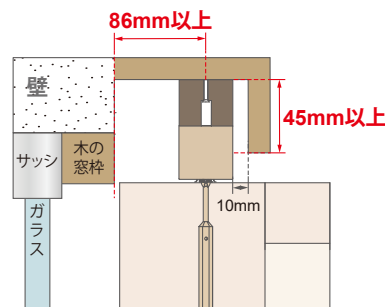
カーテンボックス付け (カーテンボックス内に取り付け)



- ① 木製スペーサーの設置 *スペーサー使用時のみ
前垂れの深さが45mm以上の場合、木製スペーサーを使用します。

木製スペーサーの穴の位置を以下のように調整し、固定してください。

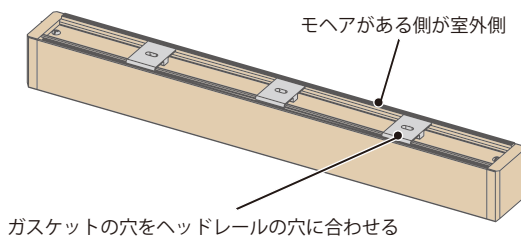
- ・前後位置：カーテンボックスの壁面から
レールの中心(レール芯)まで**86mm以上**の位置
- ・左右位置：ヘッドレールにある直付けガスケット用の穴に合う位置



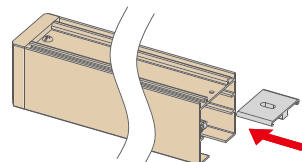
- ② 直付けガスケットの位置の確認と調整

ヘッドレールに直付けガスケットが付いた状態で納品されます。

モヘアがある側が室外側になるよう確認し、ガスケットの穴をヘッドレールの穴に合わせて調整してください。



ガスケットの穴をヘッドレールの穴に合わせる

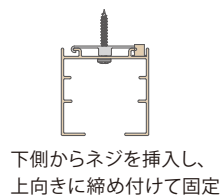
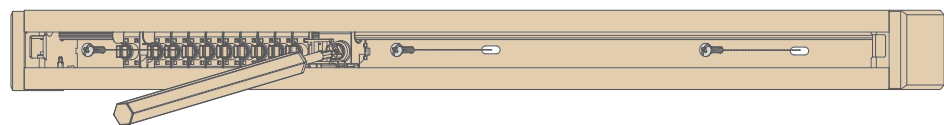


ガスケットはスライドできます

- ③ ヘッドレールの固定

ヘッドレールの下側から確認し、図のようにランナー等のパーツが干渉しないネジ穴を選び、ネジを締めてください。

その後、パーツをスライドさせて残りのネジ穴を締めて固定します。

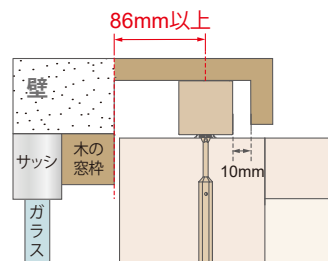


下側からネジを挿入し、
上向きに締め付けて固定

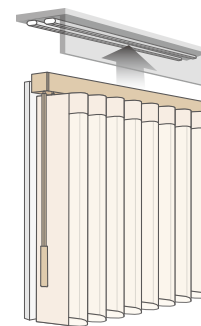
■ 木製スペーサーを使わない場合のヘッドレール取り付け位置

ヘッドレールを以下のように調整し、固定してください。

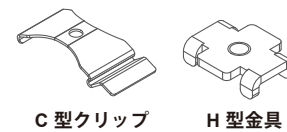
- ・前後位置：カーテンボックスの壁面から
レールの中心(レール芯)まで**86mm以上**の位置
- ・左右位置：ヘッドレールにある直付けガスケット用の穴に合う位置



カーテンレール付け (カーテンボックス内または窓枠内のカーテンレールに取り付け)



カーテンレール付けの場合、専用部材「C型クリップとH型金具」を使用し、既存のカーテンレールにヘッドレールを固定します。



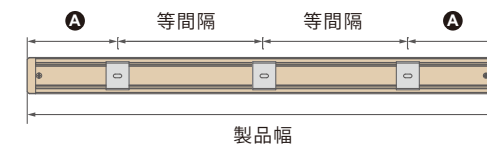
C型クリップ H型金具

- ① 取り付け位置の確認

専用部材の取り付け位置は、下記表の基準に従い決定します。

専用部材を3個以上使用する場合は、中間の部材を均等な間隔で配置してください。

ヘッドレール両端からの距離 A
102mm



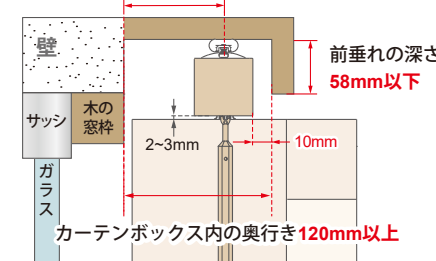
注意 既存カーテンレールの位置について

下記寸法を満たさない場合、生地が窓やカーテンボックスの前垂れと干渉します。再度ご確認ください。

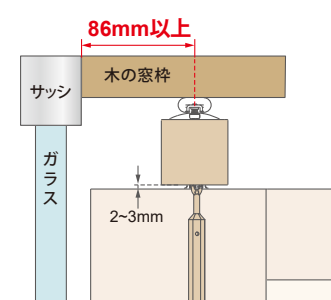
- ・前後位置：カーテンボックスの壁面または窓枠からカーテンレールの中心(レール芯)まで**86mm以上**の位置
- ・前垂れの深さ：**58mm以下**

■ カーテンボックス内のカーテンレールの場合

窓枠から既存カーテンレールの中心までの奥行き**86mm以上**



■ 窓枠内のカーテンレールの場合



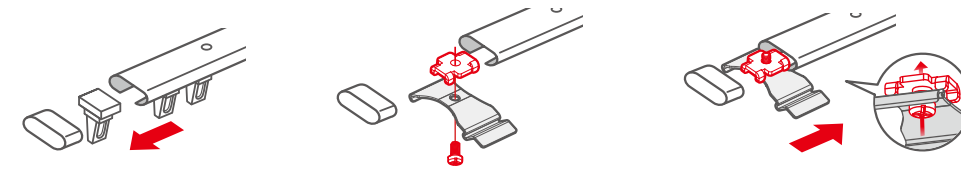
- ② 専用部材の取り付け準備

まず、既存のカーテンレールからランナーを取り外します。

次に、C型クリップとH型金具を組み合わせ、ネジで軽く仮止めします。

このとき、次の工程で専用部材をカーテンレール内に挿入するため、ネジを締めすぎないように注意してください。

仮止めした専用部材を、カーテンレールの端からスライドさせて取り付けます。

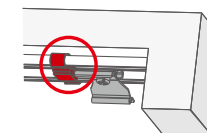
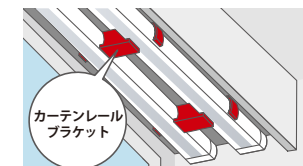
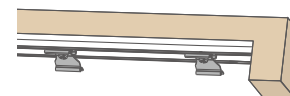


カーテンレールからランナーを外す ▶ ネジで仮止め ▶ 隙間を利用しレールにスライドさせる

- ③ 専用部材の固定

専用部材を、①で指定した位置にC型クリップ用ボルトで固定します。

既存のカーテンレールにカーテンレールブラケットがある場合は、下図のように専用部材をずらして固定してください。

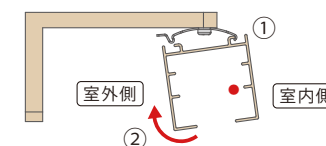


※ 複数の専用部材が壁面に対し垂直・平行な直線を描くように、設置位置を十分に確認してください。

- ④ ヘッドレールの固定

① ヘッドレール室内側のツメをC型クリップの手前にかけ、

次に ② ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側にかみ合うように、下から上に回転させます。カチッと音がするまで押し込んでください。



⚠ ヘッドレールの前後にご注意ください。
シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

6-3 ヘッドレール ジョイント仕様

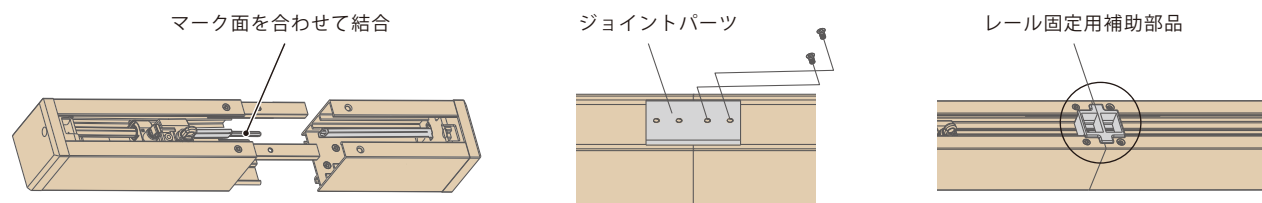
製作幅が2401mm以上の場合、ヘッドレールが分割される「ジョイント仕様」で製作し、分割された状態で納品されます。

① レール同士の連結 (シャフトの結合)

シャフトの差し込み側と受け側のマークを確認し、正確に合わせて結合します。

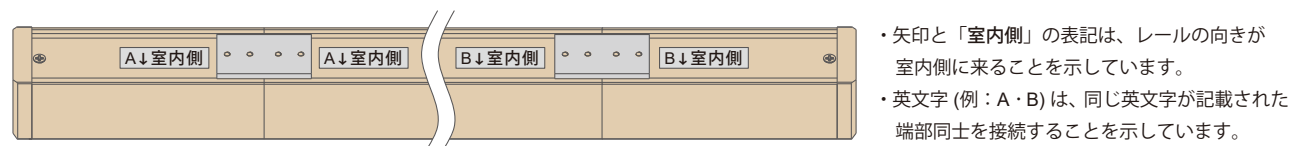
結合が確実であることを確認した後、ネジで固定してください。

ネジ穴がズレて固定が難しい場合、「レール固定用補助部品」を使用し、固定後に補助部品を取り外してください。



■ 結合箇所が2か所以上の場合

各ヘッドレールの天井面に「方向指示シール」が貼付されています。以下の内容を確認して結合してください。



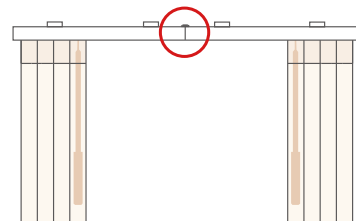
② ヘッドレールの設置

取り付けタイプに応じた方法で、ヘッドレールを設置面に取り付けてください。

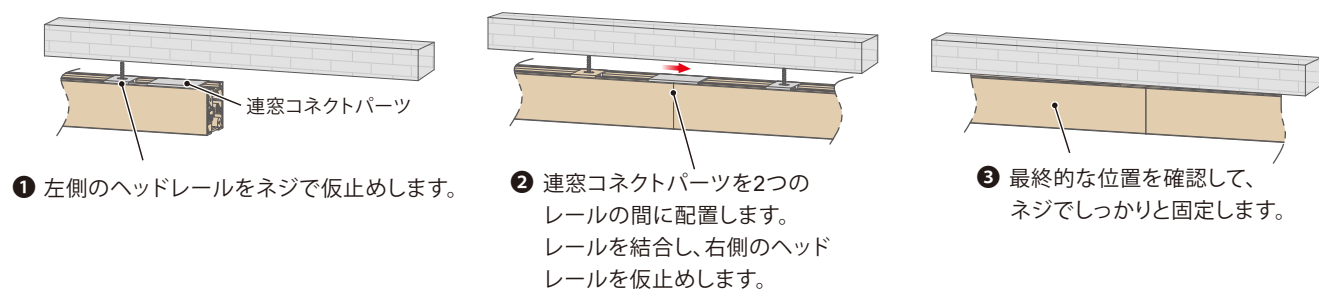
6-4 連窓仕様のレールコネク

連窓仕様では、必ずレールを結合する工程が発生します。

結合および取り付け方法は、製品の取り付けタイプに応じて異なります。



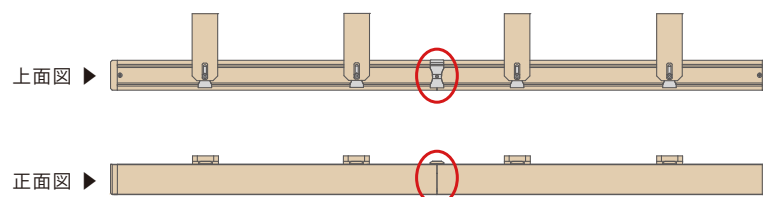
窓枠天井付け・カーテンボックス付け



壁面付け・カーテンレール付け

① 左右のヘッドレールを結合し、結合部を固定するためにC型クリップを取り付けます。

② 単窓仕様と同様の手順で、事前に取り付けたブラケット (C型クリップ) にヘッドレールを設置します。



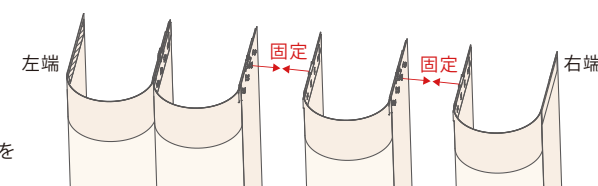
6-5 生地に着脱手順

■ 生地の種類とクリップ配置

生地は取り付け位置に応じて、以下の3種類のクリップ配置があります。

- ・左端：右側のみクリップあり
- ・右端：左側のみクリップあり
- ・中央 (その他)：両側にクリップあり

※ 梱包段ボールから生地を取り出す際は、左端の生地から順に取り付けることを原則としています。

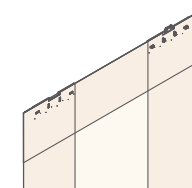


■ 生地を取り付け

① 左端の生地を取り出す

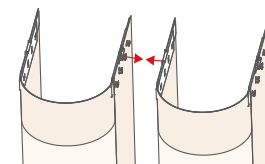
梱包から1枚目の生地を取り出し、広げます。

この際、クリップが右側のみの<左端の生地>であることを確認してください。



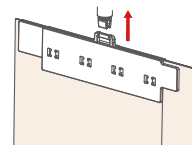
② 2枚目以降の生地を連結する

梱包から2枚目の生地を取り出し、1枚目の生地とクリップ部分を重ね合わせて連結します。



③ 同様の作業を繰り返す

3枚目以降の生地も同様に連結し、最後に右端の生地を連結します。

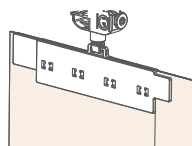


④ ヘッドレールに生地を吊り下げる

左端の生地から順に、ヘッドレールのランナーに吊り下げます。

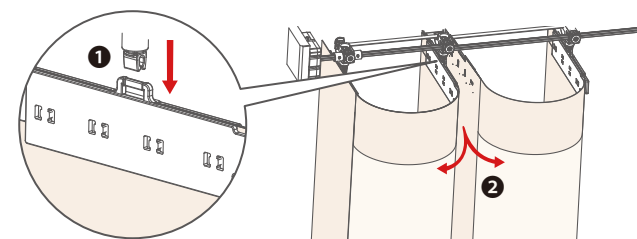
クリップの突起部分をランナーに這わせ、垂直方向から押し込んで固定します。

同じ作業を繰り返し行い、右端の生地まですべての生地を吊り下げます。



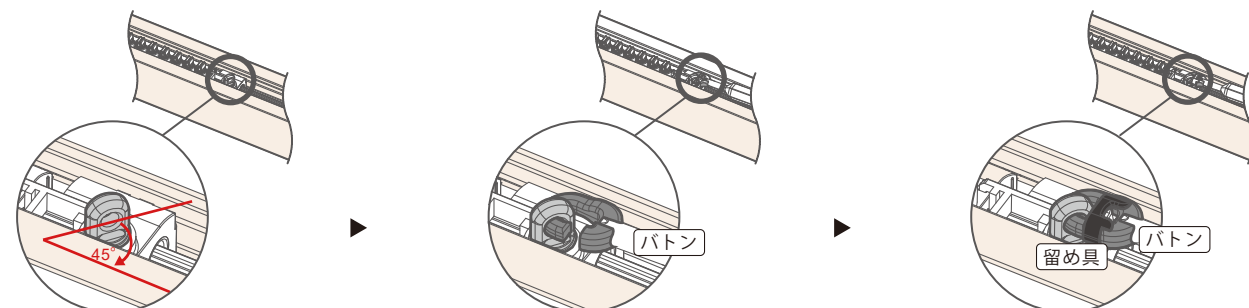
■ 生地を取り外し

- ① クリップをつまみ、ランナーから垂直に下に引きます。
- ② クリップが両側から外れるように、生地を軽く引き離します



6-6 バトンの取り付け

※「両ボタン」(単窓仕様・連窓仕様いずれも)を選んだ場合のみ



① 操作部リングを45度に調整します。

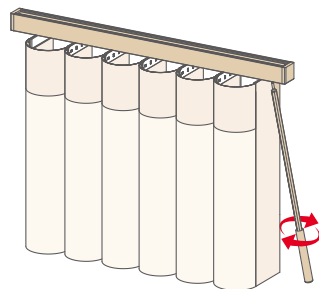
② バトンを引っかけます。

③ バトンを固定する留め具を取り付けます。

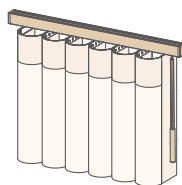
※ 留め具は、ボタンフックに取り付けられた状態ではなく、ハードウェアボックスに金具と一緒に納品されます。

シェードの角度調整

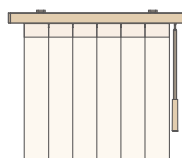
バトンを回転させると、シェードはその回転方向に合わせて動きます。



最大採光：
レースのU字型が正面に位置する状態



最大遮光：
シェードが完全に傾いた状態



※ 連窓仕様の場合、シェードが完全に展開していない状況（閉じた状態）でバトンを動かすと、シェードが正しく閉まらず、完全な遮光状態にはならないことがあります。

※ 回転限界位置を超えてバトンを無理に回転させないでください。故障や破損の原因となる場合があります。

シェードの傾き角度とバトンの位置

シェードの傾き角度によって、正面から見えるバトンの位置が変わります。

■（例1）単窓仕様 / 片バトン / 左寄せの場合

シェードを左側に傾けた最大遮光時 右図① シェードを右側に傾けた最大遮光時 右図②

バトンは右端の生地の上に位置します。 バトンは右端の生地の裏面に隠れます。

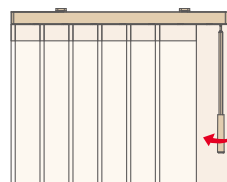


図1

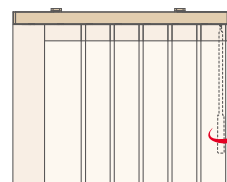


図2

■（例2）連窓仕様（両開き）の場合 右図③

シェードがどの角度に傾いても、バトンは常に中央生地の内側に収まります。

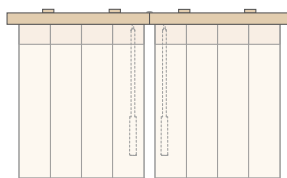
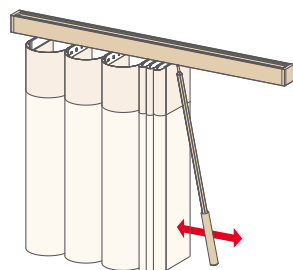


図3

シェードの開閉

シェードを収納または展開する際は、最大採光状態で行ってください。

■（例）単窓仕様/左寄せの場合



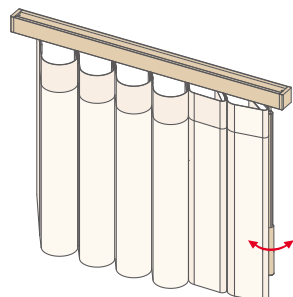
収納：バトンを握り、左上方向に押し上げるように操作してください。

展開：バトンを握り、右下方向に引き下げるように操作してください。

※ バトンをひねりながら操作しないでください。故障の原因となる場合があります。

シェードの角度が揃わない場合（シェードの向きの異常について）

製品操作時の干渉や回転機構部の停止位置にバラつきが生じると、シェードの向きがばらつくことがあります。以下の手順で修正できます。



左寄せの場合： バトンを最大限右に回し、さらに力を入れて5～6回カチカチ音がするまで回します。その後、左に回してバラつきが解消されたか確認してください。

右寄せの場合： バトンを最大限左に回し、さらに力を入れて5～6回カチカチ音がするまで回します。その後、右に戻してバラつきが解消されたか確認してください。

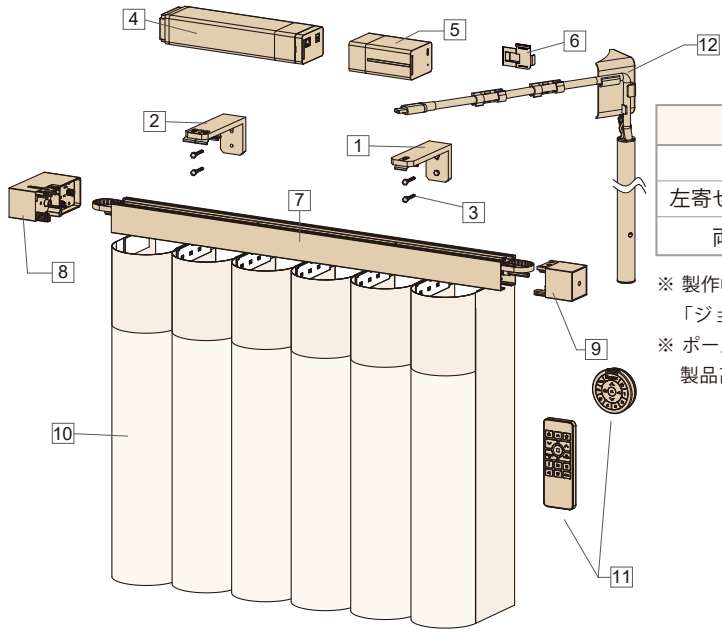


Type-C充電モデル

本体ACアダプタモデル

※ 配色表は別紙参照

Type-C充電モデル



製作可能寸法			
	幅	高さ	最大面積
左寄せ・右寄せ	549mm~7200mm	674mm~3600mm	22㎡
両開き	762mm~9000mm	674mm~3600mm	22㎡

※ 製作幅が2,401mm以上の場合、ヘッドレールを分割する「ジョイント仕様」で製作し、分割された状態で納品されます。
※ ポールチャージの長さ、製品高さ2286mm以下、標準長さ490mm。製品高さ2287mm以上、標準長さ990mm。



※ 防災対応生地はファブリックパターン「プレーン」「パンフィック」「ストライプ」の3種類です。

部品名	材質	備考
(1) ブラケット※1	アルミニウム	※2
(2) ブラケット(ダブル)※1	アルミニウム	※2
(3) ブラケット取り付けネジ※1	メタル	-
(4) モーター	メタル	※2
(5) バッテリー	メタルおよび樹脂成型品	※2
(6) モーターサポートブラケット	メタル	-
(7) ヘッドレール	アルミニウム	※2
(8) サイドキャップ A	メタルおよび樹脂成型品	※2
(9) サイドキャップ B	メタルおよび樹脂成型品	※2
(10) U型シェード	ポリエステル	生地詳細一覧表を参照
(11) リモコン / SmartDial™	メタルおよび樹脂成型品	ブラックのみ / 別売り
(12) ポールチャージ	樹脂成型品	※2

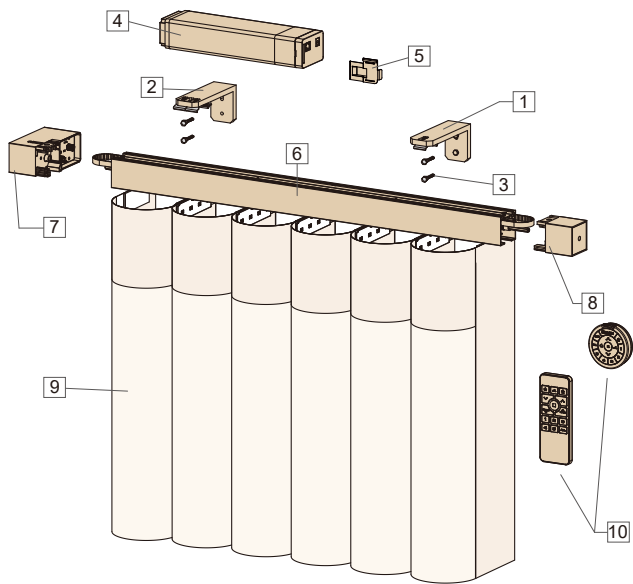
※1 壁面付けの場合のみ使用します。

※2 部品の色は生地に合わせて弊社規定でコーディネートされ、ホワイト、コテージホワイト、ブラックの3色から選ばれます。
詳細は「生地詳細一覧と部品配色表」をご確認ください。

■ 取り付けタイプ別金具

取り付けタイプ	部品名	部品説明図
窓枠天井付け カーテンボックス付け	直付けガasket	
壁面付け	ブラケット (C型クリップ付き)	
浅天付け	ブラケット (C型クリップ付き)	

本体ACアダプタモデル



製作可能寸法			
	幅	高さ	最大面積
左寄せ・右寄せ	549mm~7200mm	674mm~3600mm	22㎡
両開き	762mm~9000mm	674mm~3600mm	22㎡

※ 製作幅が2,401mm以上の場合、ヘッドレールを分割する「ジョイント仕様」で製作し、分割された状態で納品されます。



※ 防災対応生地はファブリックパターン「プレーン」「パンフィック」「ストライプ」の3種類です。

部品名	材質	備考
(1) ブラケット※1	アルミニウム	※2
(2) ブラケット(ダブル)※1	アルミニウム	※2
(3) ブラケット取り付けネジ※1	メタル	-
(4) モーター	メタル	※2
(5) モーターサポートブラケット	メタル	-
(6) ヘッドレール	アルミニウム	※2
(7) サイドキャップ A	メタルおよび樹脂成型品	※2
(8) サイドキャップ B	メタルおよび樹脂成型品	※2
(9) U型シェード	ポリエステル	生地詳細一覧表を参照
(10) リモコン / SmartDial™	メタルおよび樹脂成型品	ブラックのみ / 別売り

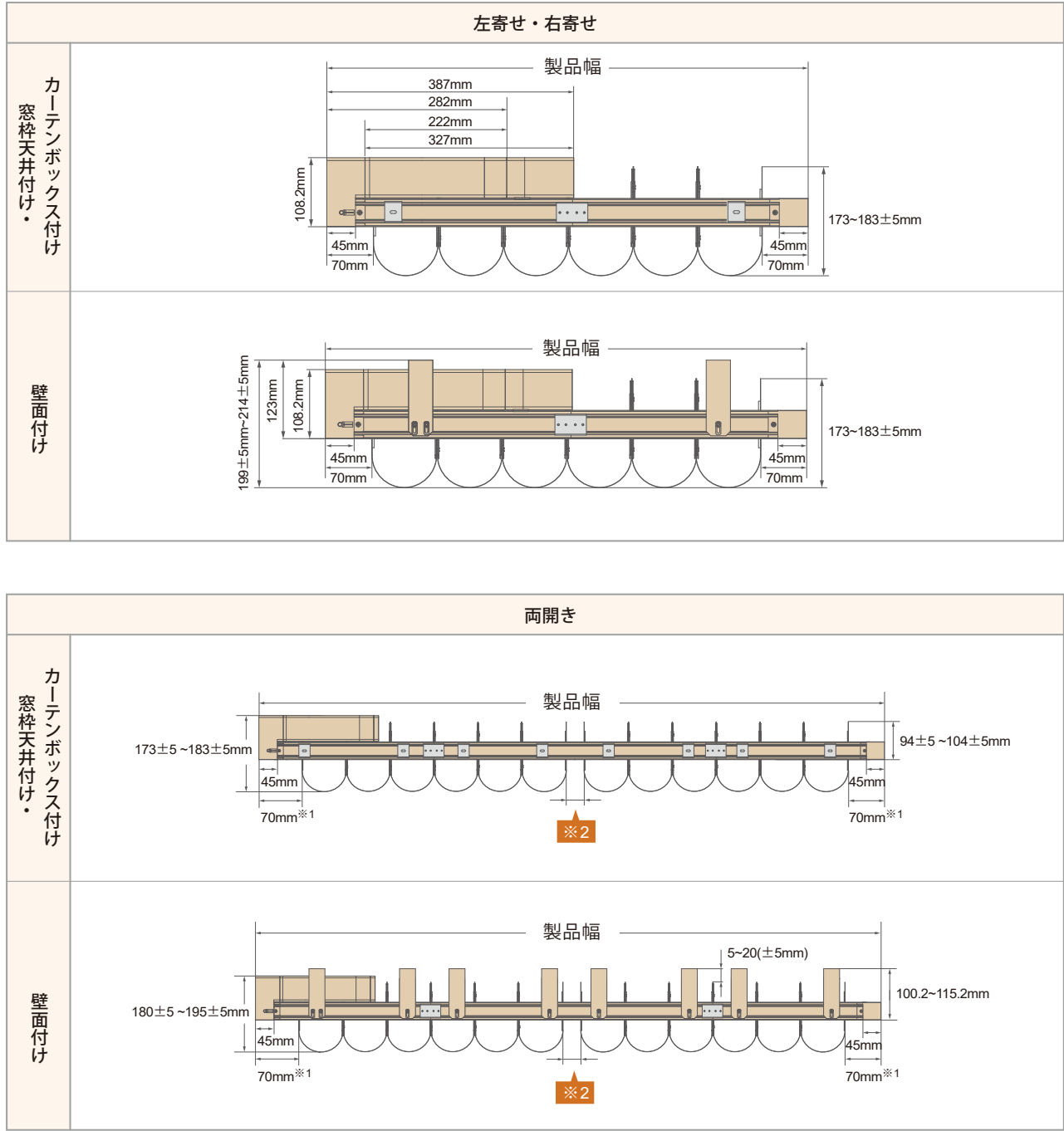
※1 壁面付けの場合のみ使用します。

※2 部品の色は生地に合わせて弊社規定でコーディネートされ、ホワイト、コテージホワイト、ブラックの3色から選ばれます。
詳細は「生地詳細一覧と部品配色表」をご確認ください。

■ 取り付けタイプ別金具

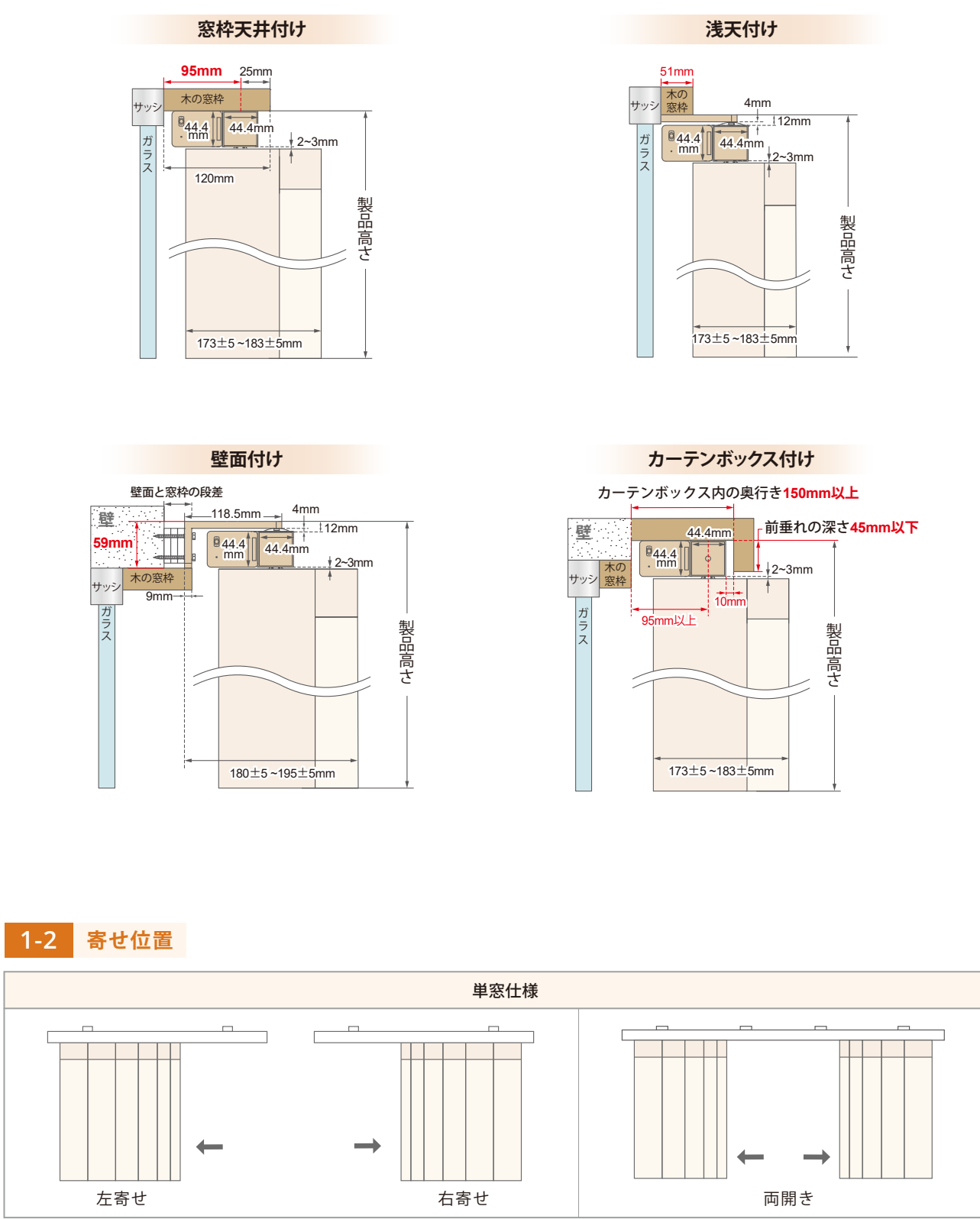
取り付けタイプ	部品名	部品説明図
窓枠天井付け カーテンボックス付け	直付けガasket	
壁面付け	ブラケット (C型クリップ付き)	
浅天付け	ブラケット (C型クリップ付き)	

■ 平面図（最大採光状態）

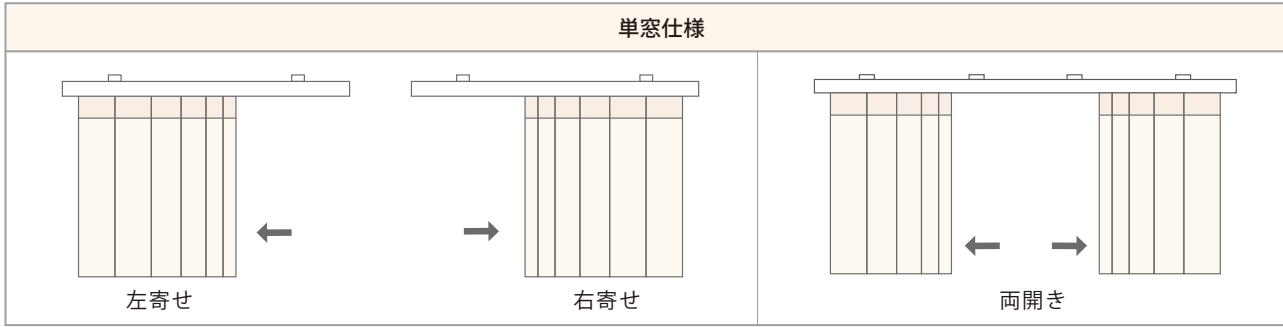


※1 製品構造上、最大採光状態時は、各端からからサイドキャップまで70mmの隙間が生じます。
※2 両開きの場合、中央部に隙間が生じます。この隙間の大きさは、製品の寸法に応じて異なります。(P.37参照)
なお、遮光状態では隙間は生じません。

■ 断面図



1-2 寄せ位置



1-3 製品幅の定義とシェードの枚数 — 単窓仕様(左寄せ・右寄せ) —

■ 製品幅：ヘッドレールのサイドキャップ左端から右端まで ■ 製作可能寸法：448mm～7200mm

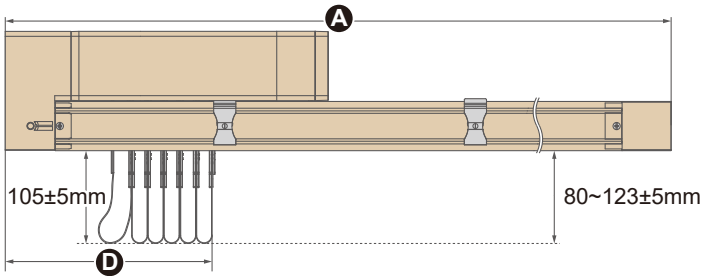
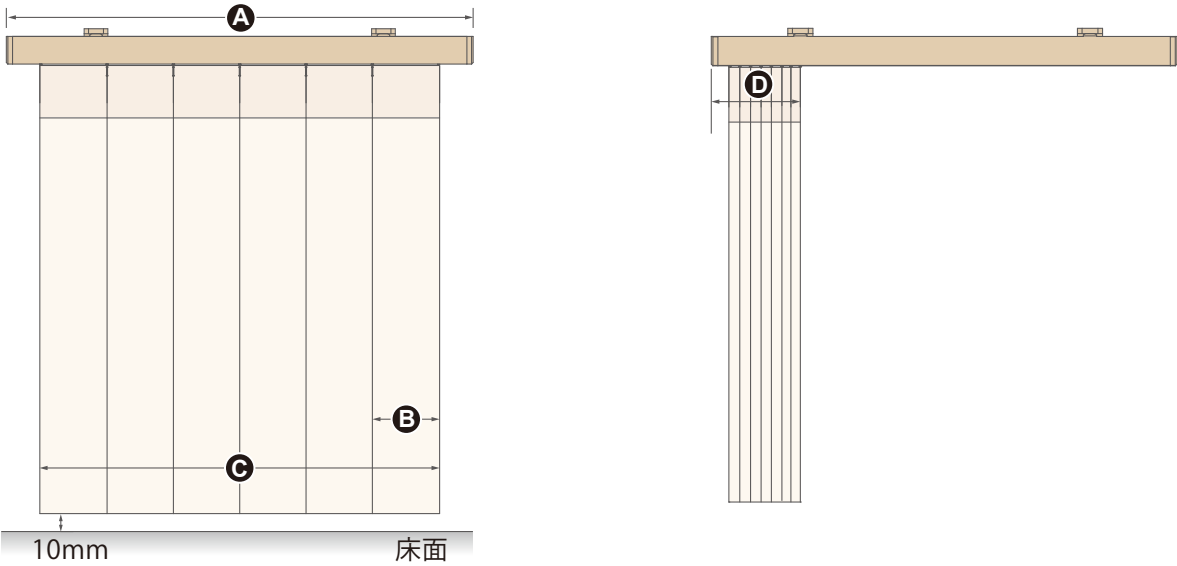
- A

製品幅
- B

U型シェード総枚数
- C

レース開口時の正面シェード幅※1
- D

畳代※2



※1 生地特性により、図表C幅には±6mm程度の誤差が生じる可能性があります。
※2 畳代は目安であり、±20mmの誤差が生じます。表内の数字を保証するものではありません。

■ 製品幅とシェード枚数相関表

製品幅に応じたシェード枚数（B）、レース開口時の正面シェード幅（C）、畳代寸法（D）は以下の通りです。
なお、シェードを均等なU型に配置するための製品幅は★列の数値となります。

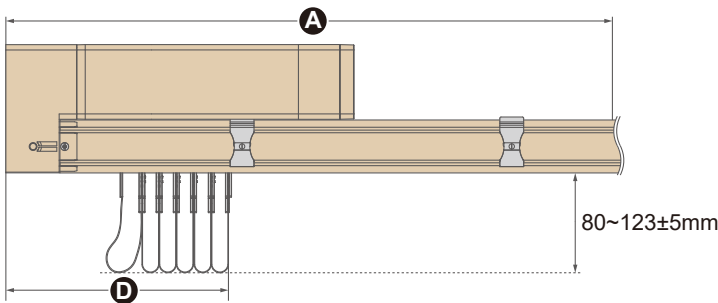
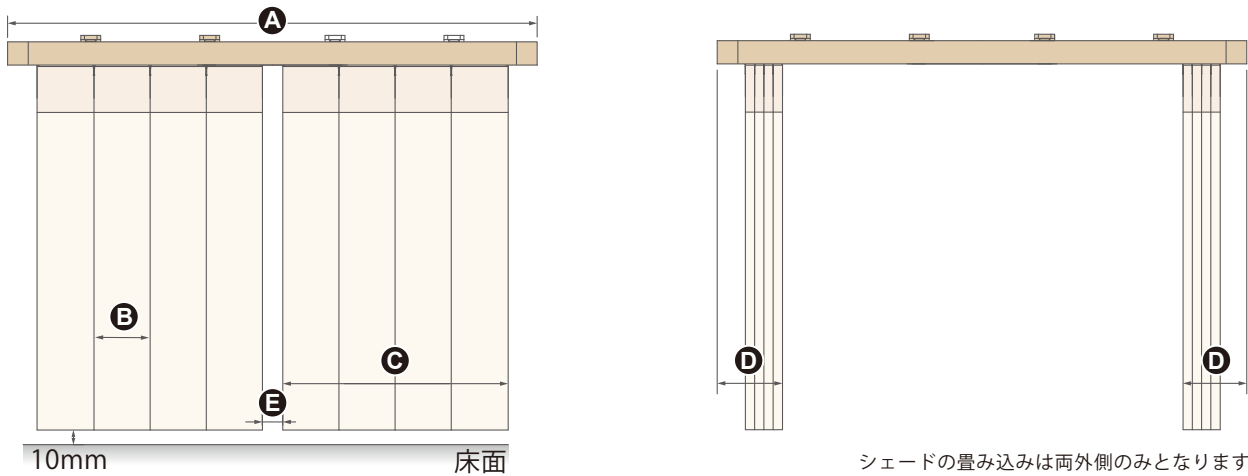
◎ 製品幅が2401mm以上の場合、ヘッドレールは連結仕様で製作され、分割された状態で納品されます。
なお、シェードの枚数や畳代寸法には影響ありません。

製品幅 A	B	★	C	D	製品幅 A	B	★	C	D
448	3	448	308	198	4818~4918	47	4918	4778	733
449~549	4	549	410	213	4919~5020	48	5020	4880	744
550~651	5	651	511	228	5021~5121	49	5121	4982	755
652~753	6	753	613	243	5122~5223	50	5223	5083	766
754~855	7	855	714	258	5224~5325	51	5325	5185	777
855~956	8	956	816	273	5326~5426	52	5426	5286	789
957~1057	9	1057	918	288	5427~5528	53	5528	5388	800
1058~1159	10	1159	1019	303	5529~5629	54	5629	5490	811
1160~1261	11	1261	1121	318	5630~5731	55	5731	5591	822
1262~1362	12	1362	1222	333	5732~5833	56	5833	5693	833
1363~1464	13	1464	1324	348	5834~5934	57	5934	5794	845
1465~1565	14	1565	1426	363	5935~6036	58	6036	5896	856
1566~1667	15	1667	1527	374	6037~6137	59	6137	5998	867
1668~1769	16	1769	1629	385	6138~6239	60	6239	6099	878
1770~1870	17	1870	1730	397	6240~6341	61	6341	6201	889
1871~1972	18	1972	1832	408	6342~6442	62	6442	6302	901
1973~2073	19	2073	1934	419	6443~6544	63	6544	6404	912
2074~2175	20	2175	2035	430	6545~6645	64	6645	6506	923
2176~2277	21	2277	2137	441	6646~6747	65	6747	6607	934
2278~2378	22	2378	2238	453	6748~6849	66	6849	6709	945
2379~2480	23	2480	2340	464	6850~6950	67	6950	6810	957
2481~2581	24	2581	2442	475	6951~7052	68	7052	6912	968
2582~2683	25	2683	2543	486	7053~7153	69	7153	7014	979
2684~2785	26	2785	2645	497	7154~7200	70	7200	7115	990
2786~2886	27	2886	2746	509					
2887~2988	28	2988	2848	520					
2989~3089	29	3089	2950	531					
3090~3191	30	3191	3051	542					
3192~3293	31	3293	3153	553					
3294~3394	32	3394	3254	565					
3395~3496	33	3496	3356	576					
3497~3597	34	3597	3458	587					
3598~3699	35	3699	3559	598					
3700~3801	36	3801	3661	609					
3802~3902	37	3902	3762	621					
3903~4004	38	4004	3864	632					
4005~4105	39	4105	3966	643					
4106~4207	40	4207	4067	654					
4208~4309	41	4309	4169	665					
4310~4410	42	4410	4270	677					
4411~4512	43	4512	4372	688					
4513~4613	44	4613	4474	699					
4614~4715	45	4715	4575	710					
4716~4817	46	4817	4677	721					

— 単窓仕様 (両開き) —

■ 製品幅：ヘッドレールのサイドキャップ左端から右端まで ■ 製作可能寸法：560mm～7200mm

- A** 製品幅
- B** U型シェード総枚数
- C** レース開口時の正面シェード幅 ※1
- D** 畳代※2
- E** 中央部の隙間寸法目安



※1 生地特性により、図表C幅には±6mm程度の誤差が生じる可能性があります。
※2 畳代は目安であり、±20mmの誤差が生じます。表内の数字を保証するものではありません。

■ 製品幅とシェード枚数相関表

製品幅に応じたシェード枚数 (B)、レース開口時の正面シェード幅 (C)、畳代寸法 (D) は以下の通りです。
なお、シェードを均等なU型に配置するための製品幅は★列の数値となります。

◎ 製品幅が2401mm以上の場合、ヘッドレールは連結仕様で製作され、分割された状態で納品されます。
なお、シェードの枚数や畳代寸法には影響ありません。

製品幅 A	B	★	C	D	E
763	6	763	308	280	13.5
764~966	8	966	410	291	
967~1170	10	1170	511	302	
1171~1373	12	1373	613	313	
1374~1576	14	1576	714	324	
1577~1779	16	1779	816	336	
1780~1982	18	1982	918	347	
1983~2192	20	2192	1019	358	
2193~2395	22	2395	1121	369	
2396~2598	24	2598	1222	380	
2599~2801	26	2801	1324	392	19.5
2802~3004	28	3004	1426	403	
3005~3208	30	3208	1527	414	
3209~3411	32	3411	1629	425	
3412~3615	34	3615	1730	436	
3616~3823	36	3823	1832	448	
3824~4026	38	4026	1934	459	
4027~4230	40	4230	2035	470	
4231~4433	42	4433	2137	481	
4434~4636	44	4636	2238	492	25.5
4637~4839	46	4839	2340	504	
4840~5042	48	5042	2442	515	
5043~5246	50	5246	2543	526	
5247~5449	52	5779	2645	537	
5450~5658	54	5658	2746	548	
5659~5861	56	5861	2848	560	
5862~6064	58	6064	2950	571	
6065~6268	60	6268	3051	582	
6269~6471	62	6471	3153	593	31.5
6472~6674	64	6674	3254	604	
6675~6877	66	6877	3356	616	
6878~7080	68	7080	3458	627	
7081~7284	70	7284	3559	638	
7285~7493	72	7493	3660	649	
7494~7699	74	7699	3761	660	
7700~7899	76	7899	3862	672	
7900~8102	78	8102	3963	683	
8103~8306	80	8306	4064	694	43.5
8307~8509	82	8509	4165	705	
8510~8712	84	8715	4266	716	
8713~8915	86	8915	4367	728	
8916~9000	88	9000	4468	739	

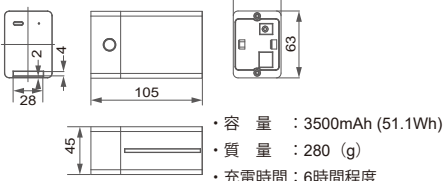
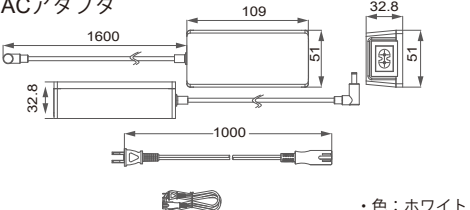
■ 中央部の隙間寸法目安 E

両開きの場合、中央部に隙間が生じます。
この隙間の大きさは、製品の寸法に応じて異なります。
なお、遮光状態では隙間は生じません。

01 仕様と構造

1-6 電動関連の仕様詳細

【製品本体】

	Type-C充電モデル	本体ACアダプタモデル
入力	14.6V 16.8V ≤ 100mA	AC 100-240V, 50/60Hz 1.2A Max
出力	DC 14.4V ≡ 3.0A Max 45.0W	15.0 V ≡ 3.0A Max 45.0W
モーター種類	DCブラシモーター	DCブラシモーター
無線通信方式	FM電波式 / RF方式 (2.4GHz)	FM電波式 / RF方式 (2.4GHz)
動作温度範囲	0℃～45℃	0℃～45℃
動作湿度範囲 (RH)	0%～90% (未結露)	0%～90% (未結露)
給電方法	バッテリー (保証対象外)  ・容量 : 3500mAh (51.1Wh) ・質量 : 280 (g) ・充電時間 : 6時間程度	ACアダプタ  ・色 : ホワイト

【電源アクセサリ】 ※ 必要に応じて別途購入

	ShadeAuto™ HUB	リピーター(中継器)
	 020-230266 直径90mm x 高さ25mm	 020-190014
電源	5V DC / 1A	5V 1A Type-A ポート
Wi-Fi接続周波数	2.4 GHz & 5GHz	-
シェード接続周波数	2.4 GHz (専用プロトコル)	2.4 GHz (専用プロトコル)
電波接続範囲(遮蔽物がない状態)	30 m	10m
インターネット接続方法	イーサネット (CAT5) およびWi-Fi無線接続	-
動作温度範囲	0℃ ～ 45℃	0℃ ～ 45℃
使用用途	専用アプリ「ShadeAuto™ APP」やスマートホームに連携するために必要	シグナルが遮られたり距離が長くなりすぎる場合に電波を強化し、通信範囲を広げるために使用

【操作デバイス】

本製品を操作するには、リモコンまたはSmart Dial™ G2のいずれかを手元に用意する必要があります（以前購入したものでも使用可能）。

	リモコン	SmartDial™ G2
	 201-220441	 020-230277
製品型番	RC-A01	DIAL01
色	ブラック	ブラック※1
外形寸法	幅50 × 高さ135 × 奥行き9.5 mm	直径67.6 × 高さ21.2 mm
質量(電池を含む)	62g ± 5g	74.5g ± 20g
電源	CR2032リチウムボタン電池 × 2個 (3V)	CR2032リチウムボタン電池 × 2個 (3V)
無線通信方式	FM電波式 (2.4 GHz / 一般的な通信規格)	RF方式 (2.4 GHz / 専用プロトコル)
動作温度範囲	0℃ ～ 50℃	0℃ ～ 50℃

※1 着せ替え用ベセルで、好みに応じて外観をカスタマイズ可能です（別途オプション）。

1-7 製品重量と生地重量の目安

項目	取り付けタイプ	計算式
	ヘッドレール部(kg) ①	製品幅(m)×1.2kg + 0.45kg
	モーター部(kg) ②	1.3076kg
生地部(kg) ③	窓枠天井付け・カーテンボックス付け※1	製品幅(m)×4.1×製品高さ(m)×生地重量目安(kg/m ²)
	壁面付け※2	製品幅(m)×3.9×製品高さ(m)×生地重量目安(kg/m ²)

総重量(kg)	ヘッドレール部 ① + モーター部(kg) ② + 生地部 ③
---------	---------------------------------

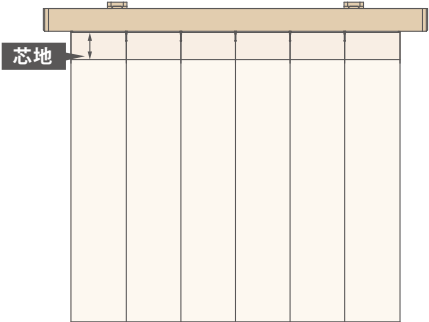
※1 カーテンボックス付けで木製スペーサーを使用する場合、木製スペーサーの高さを除いた高さで計算してください。

※2 壁面付けの場合、ブラケットの厚み (9mm) を除いた製品高さで計算してください。

生地重量目安	
生地種類	重量kg/m ²
採光防炎生地	0.19
採光生地	0.183
遮光防炎生地	0.294
遮光生地	0.296

1-8 シェード芯地の高さの目安

製品高さ	芯地の高さ
1981mm以下	100mm
1982mm以上	120mm

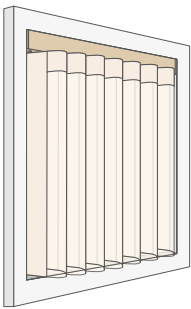


※ 数値は品質改良に伴い、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

02 取り付けタイプ

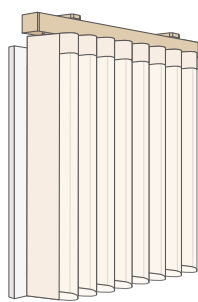
窓枠天井付け/浅天付け

(窓枠内の内側上の枠に取り付ける場合)



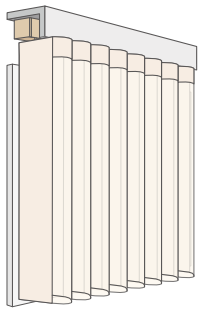
壁面付け

(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)



カーテンボックス付け

(カーテンボックス内に取り付ける場合)



03 取り付け条件

取り付け条件はバトンタイプと共通となります。

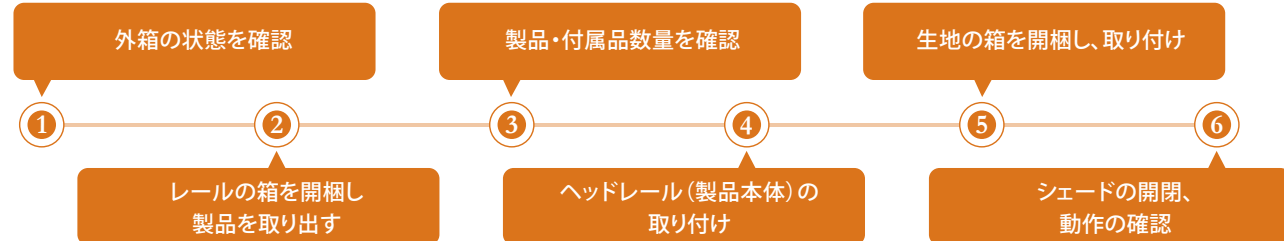
詳細はP.14をご参照ください。

取り付けタイプ	断面図と必要寸法	
窓枠天井付け/浅天付け	窓枠内にシェードを収める	最低限必要な窓枠の奥行き
※奥行き 51mm以下 の場合は浅天付け。		
壁面付け		
カーテンボックス付け	カーテンボックス内にシェードを収める	カーテンボックス外にシェードを逃がす

※ 前垂れの深さが46mm以上の場合は、木製スペーサー（オプション）を利用し、ヘッドレール設置位置を下方に延ばすことで取り付け可能となります。

採寸方法はバトンタイプと共通となります。
詳細はP.18をご参照ください。

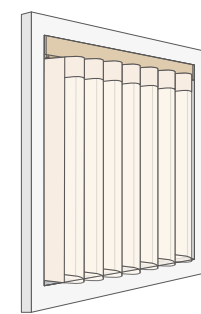
6-1 取り付けの手順



6-2 ヘッドレール(製品本体)の取り付け

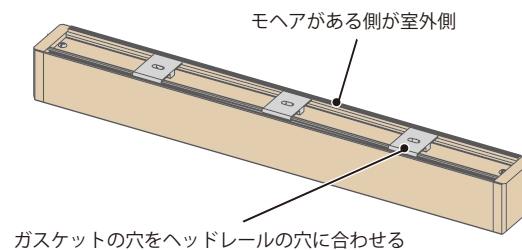
「ヘッドレール ジョイント仕様」の場合 P.25 も合わせてご覧ください。

窓枠天井付け（窓枠の内側に取り付け）

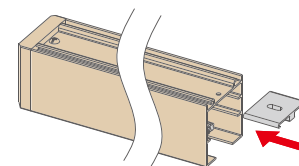


① 直付けガasketの位置の確認と調整

ヘッドレールに直付けガasketが付いた状態で納品されます。
モヘアがある側が室外側になるよう確認し、ガasketの穴をヘッドレールの穴に合わせて調整してください。



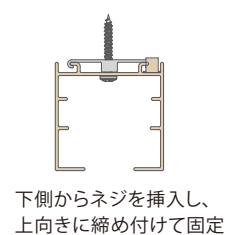
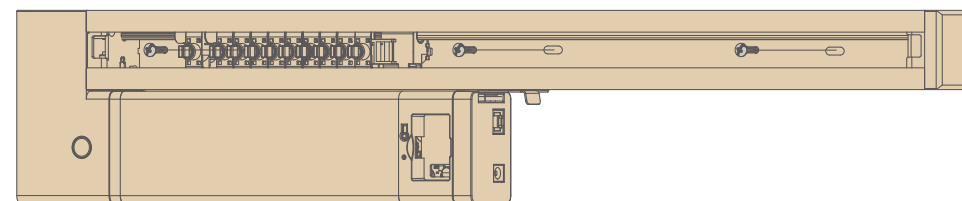
ガasketの穴をヘッドレールの穴に合わせる



ガasketはスライドできます

② ヘッドレールの固定

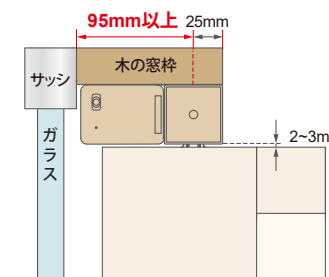
ヘッドレールの下側から確認し、図のようにランナー等のパーツが干渉しないネジ穴を選び、ネジを締めてください。
その後、パーツをスライドさせて残りのネジ穴を締めて固定します。



下側からネジを挿入し、
上向きに締め付けて固定

■ ヘッドレール取り付け位置（奥行き方向）

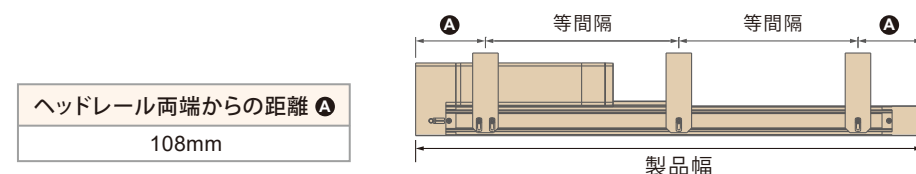
- カーテンボックスの壁面から
レールの中心（レール芯）まで**95mm以上**の位置



浅天付け

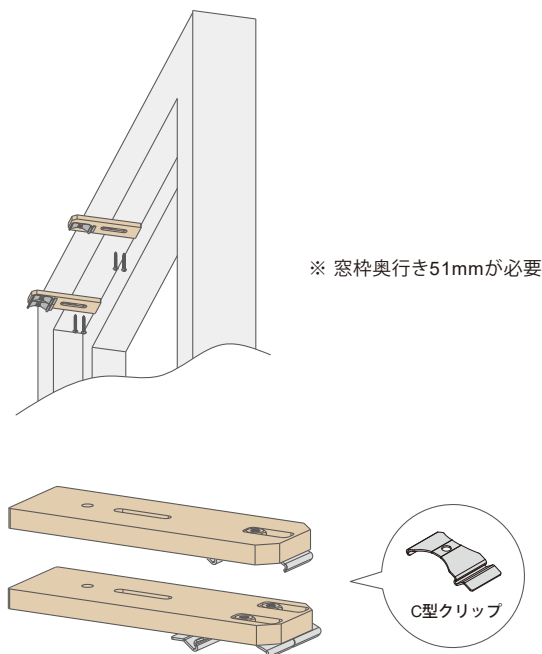
① ブラケット設置位置を確認

最初に、両端のブラケット位置を右表の基準に従い決定します。
ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットを均等な間隔で配置してください。



② ブラケットの固定

ブラケットは2本のネジで固定します。
採寸時と同様の高さ位置に取り付けてください。
全てのブラケットは必ず水平に、かつ高さ位置が揃うように注意して取り付けてください。
ブラケットが水平でないと故障や不具合の原因となります。

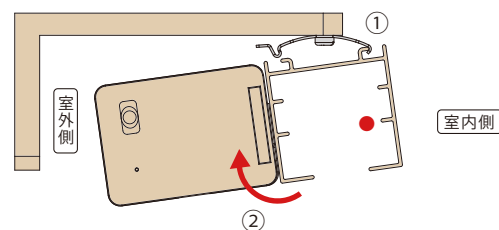


③ C型クリップの取り付け

ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。
C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。

④ ヘッドレールの取り付け

① ヘッドレール室内側のツメをC型クリップの手前にかへ、次に ② ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側にかみ合うように、下から上に回転させます。カチッと音がするまで押し込んでください。

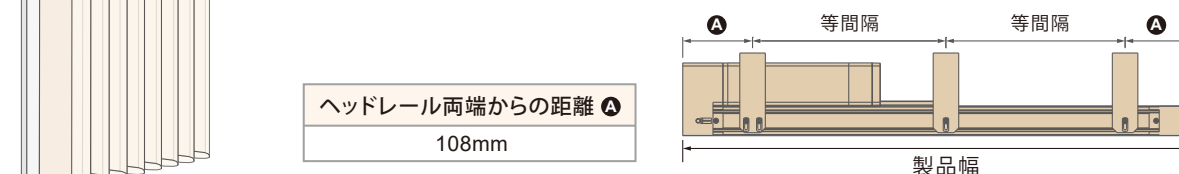


⚠ ヘッドレールの前後にご注意ください
シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

壁面付け(窓枠上の壁面に取り付け)

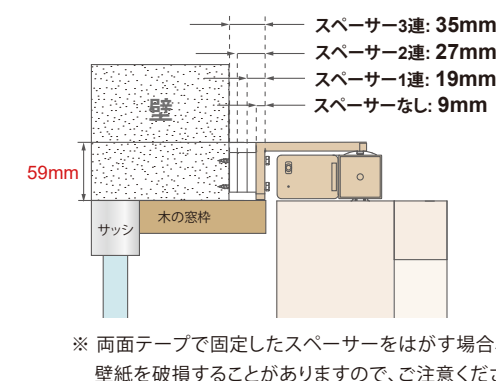
① ブラケット設置位置の確認

最初に、両端のブラケット位置を下記表の基準に従い決定します。
ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットを均等な間隔で配置してください。



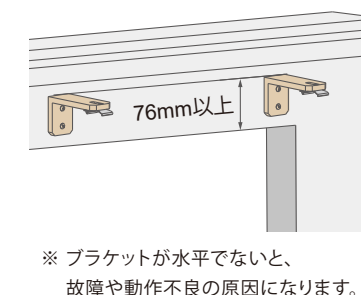
② 樹脂製スペーサーの仮止め *スペーサー使用時のみ

壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、樹脂製スペーサーを使用します。
ブラケット取り付け位置に、両面テープで樹脂製スペーサーを仮止めしてください。



③ ブラケットの固定

ブラケットは2本のネジで固定します。採寸時と同じ高さに取り付け、全てのブラケットの高さと水平が揃うよう注意してください。壁面の割れを防ぐため、ブラケットは図示の高さ(76mm以上)に取り付けてください。



■ ブラケットの取り付けについて

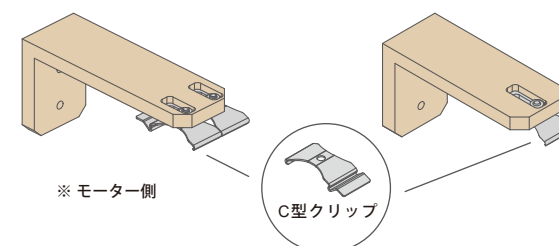
ブラケットは、ヘッドレールをしっかり固定するために、一直線で水平になるよう均等な間隔で取り付け、付属のネジで確実に固定します。以下に、正しい例と誤った例を示していますので、取り付けの際に参考にしてください。

	正しい例 等間隔かつ一直線に揃っている	誤った例 一直線に揃っていない
俯瞰図		
正面図		

※ ブラケットを取り付け後、製品本体を取り付ける前に、ブラケットが一直線に揃っているか、必ずご確認ください。

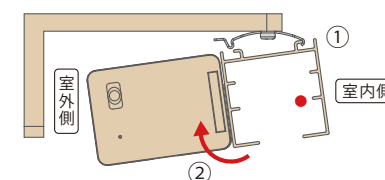
④ C型クリップの取り付け

ブラケットにC型クリップをネジで取り付けます。
C型クリップの設置位置は前後に若干の調整が可能です。



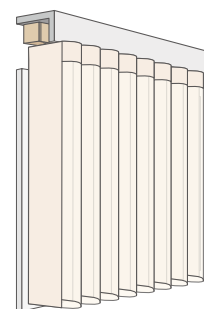
⑤ ヘッドレールの固定

① ヘッドレール室内側のツメをC型クリップの手前にかへ、次に ② ヘッドレール奥のツメがC型クリップ奥側にかみ合うように、下から上に回転させます。カチッと音がするまで押し込んでください。

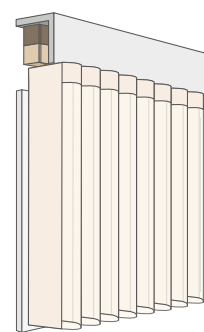
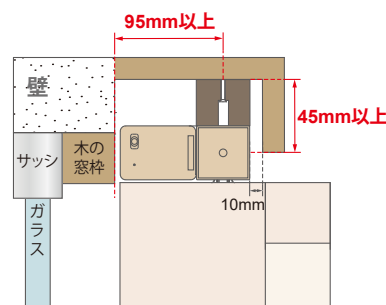


⚠ ヘッドレールの前後にご注意ください
シャフトが配置されている側(図中●)が室内側です。

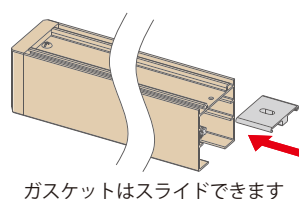
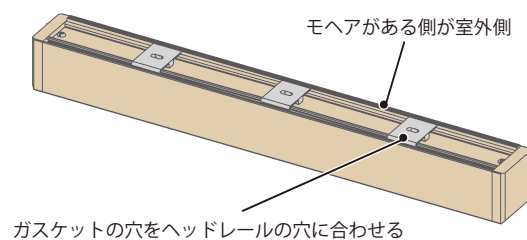
カーテンボックス付け (カーテンボックス内に取り付け)



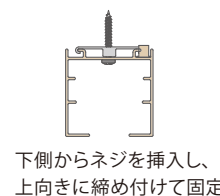
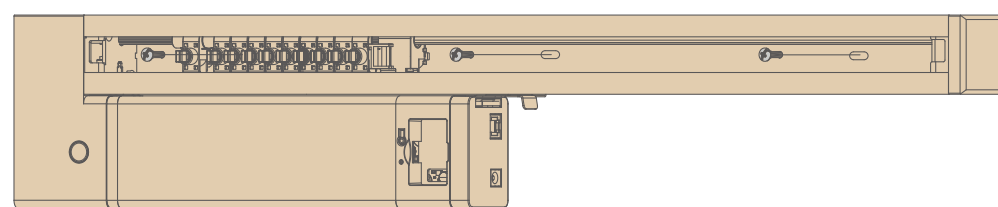
- 木製スペーサーの設置** *スペーサー使用時のみ
前垂れの深さが45mm以上の場合、木製スペーサーを使用します。
木製スペーサーの穴の位置を以下のように調整し、固定してください。
・前後位置：カーテンボックスの壁面から
レールの中心(レール芯)まで**95mm以上**の位置
・左右位置：ヘッドレールにある直付けガスケット用の穴に合う位置



- 直付けガスケットの位置の確認と調整**
ヘッドレールには直付けガスケットが付いた状態で納品されます。
モヘアがある側が室外側になるよう確認し、ガスケットの穴をヘッドレールの穴に合わせて調整してください。



- ヘッドレールの固定**
ヘッドレールの下側から確認し、図のようにランナー等のパーツが干渉しないネジ穴を選び、ネジを締めてください。
その後、パーツをスライドさせて残りのネジ穴を締めて固定します。



下側からネジを挿入し、
上向きに締め付けて固定

■ 木製スペーサーを使わない場合のヘッドレール取り付け位置

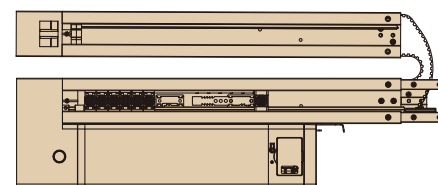
- ヘッドレールを以下のように調整し、固定してください。
- ・前後位置：カーテンボックスの壁面からレールの中心(レール芯)まで**95mm以上**の位置
 - ・左右位置：ヘッドレールにある直付けガスケット用の穴に合う位置

6-3 ヘッドレール ジョイント仕様

製品幅が2,401mm以上の場合、ヘッドレールが分割される「ジョイント仕様」で製作します。
製品幅に応じて、二分割または三分割にされた状態で納品されます。

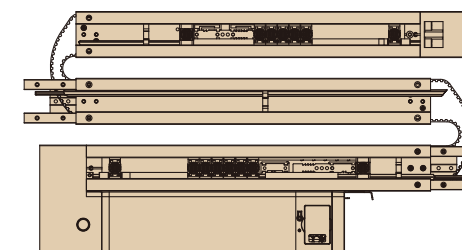
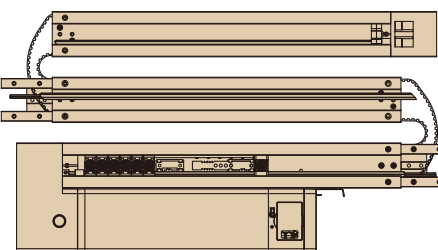
■ 左寄せ / 右寄せ

二分割



■ 両開き

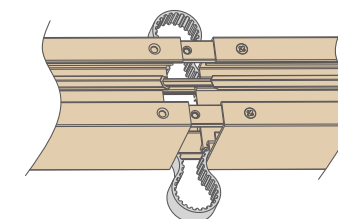
三分割



⚠ 連結作業が完了するまで、通電やシャフトの回転操作は絶対に行わないでください。故障の原因となります。

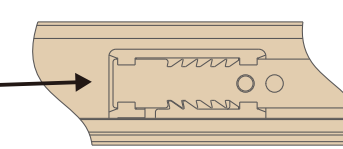
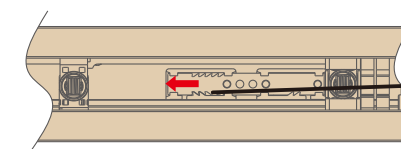
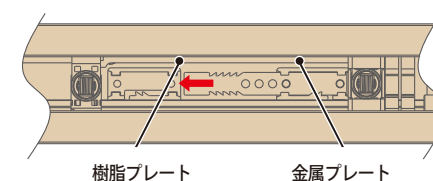
① レール同士の連結(シャフトの結合)

シャフトの差し込み側と受け側にあるマークを確認し、それらを正確に合わせて結合します。
ベルトが締めすぎないようにするために、連結前に20mm程のスペースを確保してください。



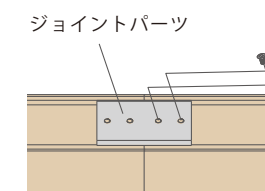
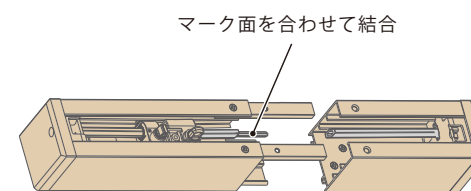
② ランナー固定金具の結合

モーター側のランナーを手で動かし、樹脂プレートを確認します。
ランナーをモーター側に寄せながら、樹脂プレートを中央に移動させます。
最後に樹脂プレートを金属プレートとしっかり結合させます。



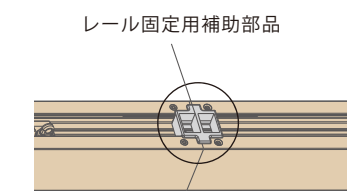
③ 連結部分の固定

シャフトがしっかり結合したことを確認した後、
ネジで確実に固定します。

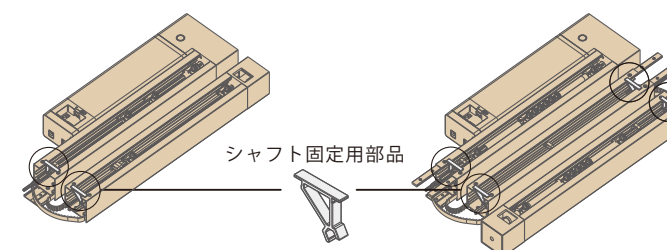


■ ネジ穴がズレて固定が難しい場合

「レール固定用補助部品」を使用し、
固定後に補助部品を取り外してください。



ジョイント完了後、シャフト固定用部品を外してください。※ 両開きのみ



④ 結合した後、指でランナーがちゃんと左右に動くかどうか確認します。



結合動画

6-4 生地着脱手順

■ 生地の種類とクリップ配置

生地は取り付け位置に応じて、以下の3種類のクリップ配置があります。

- ・左端：右側のみクリップあり
- ・右端：左側のみクリップあり
- ・中央（その他）：両側にクリップあり

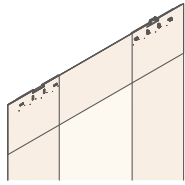
※ 梱包段ボールから生地を取り出す際は、左端の生地から順に取り付けることを原則としています。

■ 生地の取り付け

① 左端の生地を取り出す

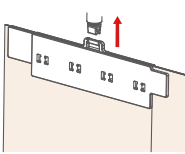
梱包から1枚目の生地を取り出し、広げます。

この際、クリップが右側のみの<左端の生地>であることを確認してください。



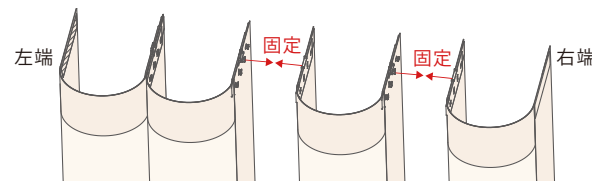
③ 同様の作業を繰り返す

3枚目以降の生地も同様に連結し、最後に右端の生地を連結します。



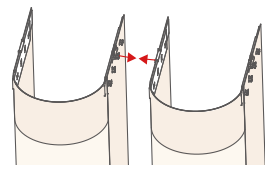
■ 生地取り外し

- ① クリップをつまみ、ランナーから垂直に下に引きます。
- ② クリップが両側から外れるように、生地を軽く引き離します



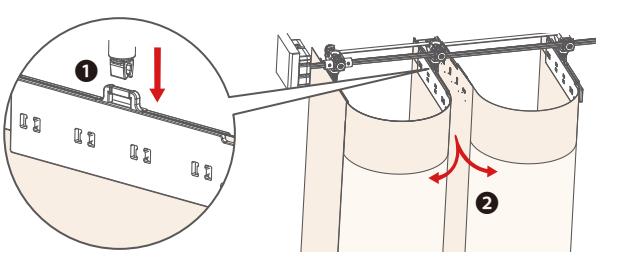
② 2枚目以降の生地を連結する

梱包から2枚目の生地を取り出し、1枚目の生地とクリップ部分を重ね合わせて連結します。



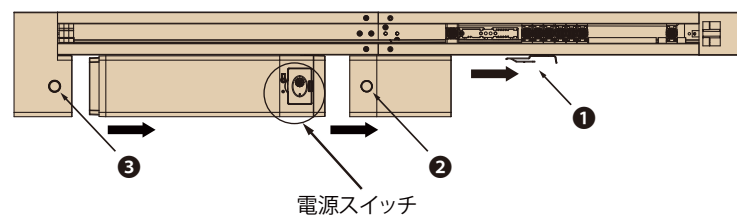
④ ヘッドレールに生地を吊り下げる

左端の生地から順に、ヘッドレールのランナーに吊り下げます。クリップの突起部分をランナーに這わせ、垂直方向から押し込んで固定します。同じ作業を繰り返し行い、右端の生地まですべての生地を吊り下げます。



6-5 バッテリーとモーターの着脱手順

下図のように、バッテリーとモーターをヘッドレールから取り外すことができます。



6-6 ポールチャージの取り付け手順 (Type-C 充電モデルのみ)

ホルダーおよびケーブルクリップの両面テープを剥がし、モーターと平行に固定します。ポールチャージをバッテリーの Type-C 挿し口に差し込みます。

モーターと平行に固定

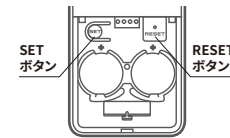
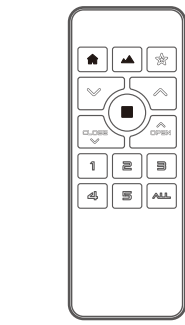
バッテリーの Type-C 挿し口

両面テープ



取付動画

リモコン



SmartDial™



ボタン機能紹介



操作デバイスの梱包について

発注内容や配送状況に応じて、製品本体と同じ箱に梱包される場合や、同時にご注文いただいた別製品と一緒に配送される場合があります。

お好み設定

シェードの位置や向きを任意で設定できる機能です。設定しない場合、デフォルトで最大採光状態(レースのU字型が正面に位置)になります。

1. 【 】を押してすべての生地を畳み込み、次に【 】を押して最大採光状態にします。
2. シェードをお好みの位置に動かします。
3. 【 】を3秒間長押し、『設定モード』を起動します。設定モードに入ると、**デバイス点滅します。**
4. 設定するグループを選択します。選択したグループは点滅します。
5. 【 】を最後に押すと、設定完了です。

グループ設定

複数台のシェードをグループとしてまとめ、一括で操作できる機能です。

- 1グループに登録可能なシェード数：制限なし
- 1台のシェードが登録できるグループ数：最大5つ

1. 【 】を3秒間長押し、『設定モード』を起動します。設定モードに入ると、**デバイス点滅します。**
2. 設定するグループを選択します。選択したグループは点滅します。
3. 【 】を最後に押すと、設定完了です。

幅				
取り付けタイプ	発注幅	仕上がり幅		公 差
窓枠天井付け / 浅天付け	W	W	キャップの左端から右端まで※1	± 6mm
壁面付け				
カーテンボックス付け				
カーテンレール付け※2				
シェード総幅				
取り付けタイプ	Z ※3	測定位置		公 差
窓枠天井付け / 浅天付け		レース開口 (ヘッドレールに対し、U字側線が垂直) 状態でのシェード正面総幅		± 6mm
壁面付け				
カーテンボックス付け				
カーテンレール付け※2				
高 さ				
取り付けタイプ	発注高さ※4	仕上がり高		公 差
窓枠天井付け	H	H	設置面からシェード下端まで	0 ~ + 6mm
壁面付け	H	H	ブラケットの上端からシェードの下端まで ※5	
カーテンボックス付け	H	H	設置面からシェードの下端まで ※6	
カーテンレール付け※2	H	H	カーテンレールの下端からシェードの下端まで	

※1 シェード全閉時、生地の上端とヘッドレールの端は揃います。公差が-10mm~+10mm。
※2 バトンタイプのみ。
※3 製品幅等寸法表 ㊦ の行を参照。
※4 シェード下端から床面(または干渉物)の間には10mm以上の隙間が必要です。
※5 製品高さは、ブラケットの厚さ+C型クリップ12mmの厚さを含みます。
※6 木製スペーサーをご利用の場合、ご発注高さは木製スペーサーを除いた寸法になります。

可視性、プライバシー、透光性という3つの特性から、お客様のご要望にあった生地をお選びいただけます。

可 視 性				
室内から見て、室外の景色が見える度合い				
レベル				
	★ 遮	★★ 低	★★★ 中	★★★★ 高
説明	室外の景色が見えない。	外が明るいときのみ、景色のシルエットが微かに見える。	窓外の景色がぼんやりと見える。	レースカーテンと同様の可視レベル。

プライバシー				
夜間、明かりがついている部屋の様子が、外から透けて見える度合い				
レベル				
	★★★★ プロテクト	★★★ プライベート	★★ ミディアム	★ シースルー
説明	室内にある物の形と影がまったく分からない。	室内にある物の形は分からないが、影がぼんやりと分かる。	室内にある物の形がぼんやりと分かる。	室内にある物の形が分かる。

実験条件

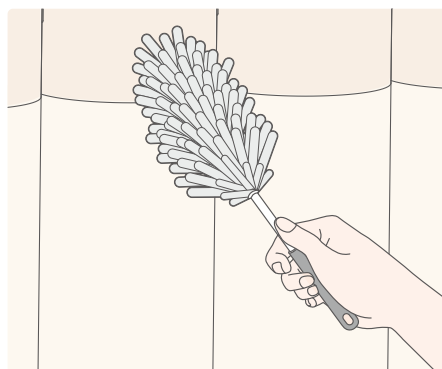
室内側20cmの位置に物を置き、室外側の200cm離れたところから室内を見た状況で、生地への透け具合を検証しました。

※ 公的試験または当社基準での検証結果を基づいたランク分類です。
全ての環境下・条件下での効果を保証するものではありません。あらかじめご理解いただいたうえで、生地選びの目安としてご参考ください。

透 光 性			室外の光がシェードを通して室内に入る度合い。採光レベルは自社基準による分類、遮光レベルは遮光性能試験JISL1055 A法10万Lxにより分類しております。	
レベル		説 明		
透けやすい 透けにくい	高採光★★★★	直射日光の刺激を抑え、柔らかな光を採り入れることができる。レースカーテンと同等。		色が淡いほど、採光率が高まる
	中採光 ★★★	刺激をおさえた優しい光だけを採り入れることができる。		
	低採光 ★★	ごく繊細な光を採り入れることができる。		
	2〜3級遮光★	遮光率99.4%〜99.99%未満。		
	1級遮光 ☆	遮光率99.99%以上。		

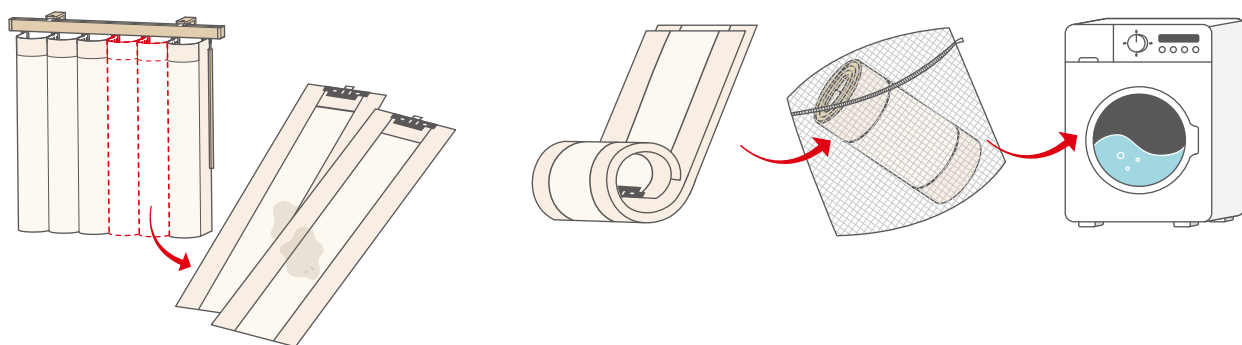
■ 普段のお手入れ

ハンドモップなどを用いて、こまめにほこりを落とすことを心がけてください。
NORMAN® スマートドレープシェードには防汚加工処理が施されているので、
毎日のお掃除の際にはほこりを除去しているだけでも長く美しいドレープを
保つことができます。



■ 洗濯するときは※1

1. 洗濯が必要なU型シェードをランナーから取り外します。
2. U型シェードをクリップ端より丸めて、クリップが内側に入るように折りたたみ、シェード1枚につき1つの洗濯ネットを使い洗濯機に入れます。



3. 30度までの水で、洗濯機のおしゃれ着用洗濯モードまたは弱水流、もしくは手洗いで洗ってください。
基本的に洗剤の使用はお勧めしませんが、特に汚れがひどい場合は市販のおしゃれ着用中性洗剤を使用し、
弱水流モードでの洗濯が可能です。
4. 脱水はしないでください。U型シェードを取り出し、水が滴らないようになるまでタオル等で水気をとります。
5. 水が滴らなくなったら、再度レールに取り付けます。
しわが生じないよう、U型シェードを展開させ吊り下げた状態で自然乾燥させます。(※2)

※1 洗濯により生地に施された防汚機能が低下することがあります。
どうしても洗濯が必要な場合を除き、「普段のお手入れ」をこまめにいただくことをお勧めいたします。
※2 ドライヤーの低温モードの風を当てることにより、より短時間で乾かすことができます。



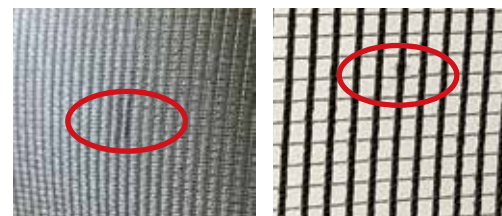
公式サイトで
洗濯動画を
公開しています!

1. 生地の色やパターンを揃えるため、同色・同パターンの製品を複数で検討の場合は、すべてを一度のご注文で購入されることを
おすすめします。日光による経年変化で、使用状況に応じて部分的な色味の差が生じることがあります。このため、後から同じ色
やパターンを追加購入しても、既存の製品と色味が異なる可能性があります。

2. ミリ単位のオーダーメイドで製作するにあたり、ヘッドレールの幅に
合わせてシェードの枚数を調整します。そのため、一部のU型シェード
が等間隔で配置されない場合があります。



3. 生地の色味や織り模様には、原材料の特性により個体差が生じる場合が
あります。



4. 洗濯後や長期間の輸送により、生地にしわができることがあります。
多くの場合、数日間レールに吊るしておくとしわは解消されます。
低温スチームのアイロンなどを使って解消することもできます。



5. 洗濯後、生地の裏打ち部分が少し外れる場合があります。その場合、
低温のアイロンを使って元に戻すことができます。



6. 生地の手端は、摩擦や伸縮、畳み込みでほつれることがあります。
特に採光非防災生地ウォーターフォール Nでは目立ちやすいですが、
他の生地は自然に見えます。
ほつれが発生した場合は、糸切りばさみで切り取ってください。
また、お客様の過失による破損は保証対象外ですのでご注意ください。



7. シェードの裾部はコードでつながっておらず、それぞれが独立した
U字型の構造です。開閉時に裾部が一部くっつく場合は、手で軽く
ほぐすことで解消できます。



11 製品特性

8. 本製品は、生地の柔らかな雰囲気とU型デザインが特徴です。ただし、生地の特性により、裾部のU型が完璧に整わないことがあり、わずかな隙間が生じる場合があります。この現象は特に高さのある製品で顕著に見られる傾向があります。



9. 遮光効果を高めるために、厚手生地部分には厚みと硬さのある素材を使用しています。そのため、設置後、底端に反りや少し不均一な部分が生じることがありますが、反りの逆側を巻いてスチームアイロンを当てることで解消できます。



10. 各シェードが独立した構造でヘッドレールから吊り下げられているため、背面のラインが揃わず、裏面の生地端部が前後にずれることがあります。



11. 生地を2色交互に配置する仕様で、シェードの枚数が偶数となる場合、両端の色は左右で異なります。



12. 両ボタンタイプは製品両端に操作ボタンを備え、生地を左右どちらからでも滑らかにスライド可能です。ただし、急激な操作はもう一方の端を引っ張り、予期せぬ動きが生じることがあります。軽い押し引きで操作してください。



12 保証について

製品保証

この度は弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。

当製品は厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万が一、保証期間内に故障した場合は無償にて修理させていただきます。

保証期間：ご注文日から3年間

保証に関する詳細やご使用中に不具合を感じた際は、公式サイト「故障かなと思ったら」ページをご参照ください。

NORMAN®
SHUTTERS, BLINDS, SHADES.

※下記太枠内にご記入ください（この用紙をコピーしてご使用ください。）

発注日： 年 月 日

ご注文者

発注者

発注No.

お客様名

〒

ご注文先

お電話番号

（ ）

ご担当者

物件名

お届け先名

〒

ご注文先

お電話番号

（ ）

備考

様

様

日

月

日



FAXはこちらの方向からお流しください。



NORMAN® スマートドレープシェード（ボタンタイプ）

	設置場所	数量	仕様と寄せ位置				製品実寸(mm)				取り付けタイプ				生地		バトンの長さ※2		スペーサー※3			
			単窓	連窓※1		単窓	連窓	幅	高さ	窓枠天井付け / 浅天井付け	壁面付け	カーテンボックス付け	カーテンレール付け	品番 / 生地名	標準	指定	壁面付け用樹脂製	カーテンボックス付け用	木製	樹脂製		
	* リビング * 洋室1 * 洋室2 など			左	右	① 左寄せ ② 右寄せ ③ 両ボタン	① 中央ボタン ② 中央・両ボタン										なし ①1連 ②2連 ③3連	なし ①40m ②50m ③60m	なし ①1連 ②2連 ③3連	なし ①1連 ②2連 ③3連		
ex.1	リビング	1	○				①	1159	2400		○			F1321 ホワイト	○		①					
ex.2	リビング	1			○		①	2200	2400		○			F1321 ホワイト	○		①					
1																mm						
2																mm						
3																mm						
4																mm						
5																mm						

備考欄

※1 連窓仕様のご注文は、別アイテムとして『連窓左』および『連窓右』の行に必要事項をご記入ください。

※2 バトンの長さは 370～2500mmの範囲内で、10mm単位でご指定いただけます。

※3 壁面付けの場合、樹脂製スペーサーは最大3連までご利用いただけます。カーテンボックス付け用の木製または樹脂製スペーサーの使用も可能ですので、ご相談ください。

NORMAN® スマートブラインドシェード（電動タイプ）

FAXはこちらの方向からお流しください。



※ 下記表格内にご記入ください（この用紙をコピーしてご使用ください。）

発注日： 年 月 日

発注No.			物件名		
お客様名			お届け先名		
ご住所			〒		
お電話番号			（ ） ）		
ご担当者			－		
発注日より14営業日以降の希望納期日			月 日		
備 考			備 考		

設置場所		数量	寄せ位置	製品実寸(mm)		取り付けタイプ			生地	給電方法			操作デバイス			電源アクセサリ		スぺーサー※2						
※リビング ※洋室1 ※洋室2など	単窓	① 左寄せ ② 右寄せ ③ 両開き	幅	高さ	窓枠天井 付け / 浅天付け	壁面 付け	カーテン ボックス 付け	品番 / 生地名	※1 Type-C 充電 モデル	※3 ポールチャ 長さ ①標準 ②490mm ③990mm	本体 AC アダプタ モデル	リモコン		Smart Dial™ G2	Smart Dial™ G2 用ベゼル	ShadeAuto™ HUB	リピーター (中継器)	壁面付け用 樹脂製	カーテンボックス付け用					
												数量	1～5	数量	1～5	なし / あり	なし / あり	なし / あり	なし / あり	なし	① ②2連 ③3連	なし	①40m ②50m ③60m	①1連 ②2連 ③3連
ex.1	リビング	1	③	1159	2400		○		F1321 ホワイト		○	1	1			なし	なし	①						
ex.2	洋室	1	①	2200	2400			○	F1321 ホワイト		○	①		1	1	なし	なし	なし	②					
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								

備考欄

※1 本モデルにはType-Cケーابلおよびアダプタは付属されておりません。ご自身でご用意ください。

※2 壁面付けの場合、樹脂製スペーサーは最大3連までご利用いただけます。カーテンボックス付け用の木製または樹脂製スペーサーの使用も可能ですので、ご相談ください。

※3 ポールチャージの長さについて、製品高さ2286mm以下、標準長さ490mm。

製品高さ2287mm以上、標準長さ990mm。

ノーマンジャパン株式会社

〒151 - 0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-15 A-PLACE 代々木 3 階

TEL : 03-3356-8688 HP : www.norman.co.jp

※ 各仕様は品質改良に伴い、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。